(日曜土)

東側は張譽良の下野するで否さ

北平軍人分會委員さして佐命がた ・ 北平軍人分會委員さして佐命がた ・ 北平軍人分會委員さして佐命がた

雅智の運動に答方廊の徐水島等は加 ・ とたが、有連名中胚骨の強化板、 ・ とたが、有連名中胚骨の強化板、

學良の勢力

廣東派は飽まで努力

張作相等は

不參加

【北平特電十九日

外字紙の

八川豊山城県以は昨日本

八日黄】後早日

遊り遂に中止に傾く

3

歸朝途出。 松井軍縮全權談

満洲問題と最近の壽府の空氣

ま



リ卿の結論

我立場を無視

三頁前後

見たる日支陽係批判の事態

結論

満洲た支部の領土を認めるか、若を惜しつよある結論は するものであり、他の委員 を対象を

變前の日支

新してはアメリカ政府は衛軍間職 近せんさするものさみられた派遣する意味であるが右代表に 英米爾両共同戦線を張り日に派遣するため九月代表をロンドン 観念を奥へ、満洲間題につき して艦艇を縁性にすべからで あんぱアメリカ政府は英外権サイモ 場が保持する保険を奥への 文教部總務司長

山氏』 岡村參謀副長 けさ急行で北行

西山政猪氏に内定

米澤

内案に除らず

きな

新任關東軍拳謀副長岡村等大少 報着池爾東倉庫に滞旧

に依頼中だつたが、前宗教局長面の建新司長の人選に関し場山文相

學良の

教育振興のため交換部を新設しそ

林出賢次郎

理事詮衡方針

沿線の警備には最善の努力 資金の問題は心配に及ばぬ

林満鐵總裁の意見

た上夏に今後の劉策な決定する事

九日重役會議移了後林楊鼓に記一

表際さ会見、左のごこく語つた 清洲の状態は来任前烈ほうたこ ころさ大機相違はなかつたが、 御蟹の通り沿線の不安が加つた のは意想外であつた、この話に のは意想外であったがこれは流洲の 中央機調が如何に動くかによっ で却々早急には出來ない、理 事の方はそれだけの人は要るの だがら自然職制問題より前に決 定するここにならうが、これも 決定は容易でない、社外から入 ただするここにならうが、これも がから自然職制同題より前に決 でがら自然職制同題より前に決 に動くではていて限る がからさずればこちらへ來で献身 がの高さずればこちらへ來で献身 がの足しに

▲大温三樹氏 G滿鐘東京支社長) 周上鐘運 「個村票次氏(陸軍少務關東軍參 「機關長)十九日午前九時衰北行 「推副長)十九日午前九時衰北行 「本庭原次耶氏(同上高級副官)外 「個名同上別伴或行 斯氏(同上高級副官) 外斯氏(同上高級副官) 外大日午前九岭蒙北行

飛行戦。全戦刑の歴史、孝貞の地 ▲關*K(*中国路局長) 十九日 年前八時大連藤著來連 ▲吳文中氏(東京地方裁判所判事) 同上 ※3の死 ×来順が勝つ、 ・大で大英帝國の ・大で大英帝國の 時半大連港外着の鎌定 野歩兴大尉八歩兵第四聯時附 日米若し戦は 相

高等官 判任官十二名

診断せらむる事さらて側五時数者 致ら 面に 御田 概修からて 法根を 致ら 面に 御田 概修からて 法根を

時局匡救費財源

赤字公債の限度擴張

濱田政友總務 法相を訪問

印刷般

米品排斥抗議

にアメリカ品か にアメリカ品か

配か無味しつい

歌 語 自口 西入 音 印刷所

施政演說 りふ正式決定

でころ成型 における変数 を 新一 1 響で不會に繋ずる態度につき継續・ ・ 選手・ 部四様な影響決定、午後間會の集

- 後臨時總務會か贈き | 來の方針な質した上場合によつて ||大親し十八日午後国 | 司法大議・職大臣の事体に野でる称 ||大親し十八日午後国 | 司法大議・職大臣の事体に野でる称 政友會議會で質問

問題重大視

米穀衞給調節特別會計法中改

は左【東京十九日費】政友會の海田總 省では動語の結果左の坂(決定) 中政 (東京十九日費) 政友會の海田總 省では動語の結果左の坂(決定) 中政 (東京十九日費) 政友會の海田總 省では動語の結果左の坂(決定) 中政 (東京十九日費) 政友會の海田總 省では動語の結果左の坂(決定) 中政 (本代は「蘇和波歌事(朝が潜む) もの た (東京十九日費) 政友會の海田總 省では動語の結果左の坂(決定) 東 (本代は「蘇和波歌事(朝が潜む) もの を (本代は「蘇和波歌事(朝が潜む) もの を (本代は「蘇和波歌事(朝が潜む) もの を (本代は「蘇和波歌事(朝が潜む) もの を (本代は「蘇和波歌事(明が潜む) もの を (本代は「蘇和波歌事(明が潜む) もの を (本代は「蘇和波歌事(明が潜む) もの を (本代は「蘇和波歌事(明が潜む) とれがたり、 (本の 「東京が進出するで、前し 」 (本の 「東京が進出するで、前し 」 (本の 「東京が進出するで、前し 」 (本の 「東京が表出するで、前し 」 (本の 「東京が表出するで、 (本の 「東京がままするで、 (本の 「東京

なべてあるが表だ一致な見るに至 でつてゐないさ感答したのでこれを をしてもないさ感答したのでこれを

促進運動

事から清暖配業の一般について建設に 事業振いありその考査方法 特に清暖競響について建設について整備、 整備、繁華をについて建設について整備、 をに清暖競響をについて建設についてと をは、新文学について建設についてと をは、新文学について表表の変情 をは、新文学について表表の変情 をは、新文学について表表の変情 をは、新文学について表表の変情 をは、新文学について表表の変情 をは、新文学について表表の変情 をは、新文学について表表の変情 をは、一時二十分まで含語のうへ概く

養發日十二月人

事から清鏡前業の一般について歌声から清鏡前表の一般について歌声がら清鏡前業の一般について歌声がられたが先づ客事、山崎大

滿鐵重役會議

に 食業につき意見を聴聴し午後三時 一般であこさに意見一数次いで黙議 三食業につき意見を聴聴し午後三時 「東京十九山黄」民政監では十八日正午東京會館に除部會と議覧内は十八日本」民政監では十八日本

電では影響の結果左の短く決定し 版六千三百冊七萬圖の財源を如何 た期せらめんさする下準備である 版六千三百冊七萬圖の財源を如何 た期せらめんさする下準備である

0

新内 鬼怒川物語 * 甘松是門太夫 福 唱見、優し、雲雀、関屋教子 がラドナウ河の連 喜及学 がラドナウ河の連 喜及学 が 鬼怒川物語 * 甘松是門太夫 學學

マーツアイボリンとが被乗のかめのでルフェイアの隣の子 パデレフス 像 エール 受職 エーニ 短調 でが、特別

武藤軍司令官送別宴



時局匡救策檢討

臨時議會の重大問題

製産婦の価格は下葉し世産費を関

家が議會に提出せらるとこさとは、

所 ある)を行ふさか誠は 関係を考慮して行ふべ 関係を考慮して行ふべ の大部分を占有金部資付金の機道と明のからもと積金部資子の引下げた行ふごいふここになれば、難じめ積金部資金のか下は金种のの大部分を占めてるる郵便路金のか下は金种ののである。

場の状況、計目或心を要す。 全無波へて観撃職る、昨今の市 「沸蒙の戦慄」休載

の配離りては散、重文解されたもの配離りては散、重文解されたものに、五

が

慰問袋

瀬線家事講習所製作中の播磨町

現場監督遭難

したと辯解

檢擧された牛作

4

= 月

その機能地が大連市

に多数競響の響

でなく自分は復州にに馬賊圏へ船銃を供

を関したものである、しかも馬豚(地川)であり山東馬賊への質勝人が同社であり山東馬賊への質勝人が高社であることがであることがであることがであることがであることができる。

もので容骸名を書へて素者な生活

更らに

逮捕さる

悦來棧主

祭職物一千個レ

大がかりな呼吸が見る日

至滿鐵社員の

山田銃砲店

大連署に留置され

>め容易に機能を新く

て機械さ

けふ總裁が社員會の陳情から

直ちに重役會議

谷は射器され郷際は全身に打撃隊の上が一里の地監に触て興暖のため中間を発生を発展を増えて明明のよいに対して明明のため中には、一般の大学を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現している。

驛を守れ

金州派の 名望ある牛

大連署に選締された特依州(**)は大連署に選締された特依州(**)は 定すること、なったが現業員の苦労は非 私は先日二週間ばかり滑線に出 るは先日二週間ばかり滑線に出

してゐるのな養見十八日午前六時十七日夜景就總老爺ば、小姑家職

長敦線で妨害

一支配人権忠明へ当に自店の或しそれに紀じて出来へ無論・事戦に挙銃を警覧してゐた同一党が一ケ月百幾內外入港で

とし、 をし、 をし、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をできる。 できる。 でも。 できる。 で。 と。 、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 後の活動方法等につ

青年同志會以 活動

るるが演儀で年社員を以て組織する。 して各方館に大きな能跡を襲って して各方館に大きな能跡を襲って して各方館に大きな能跡を襲って して各方館に大きな能跡を襲って してもの順名は十七 一部の間壁の整備光管の窓の 高の単んだ。の順名は十七 軍警の増置を懇請

載の力によって是非典管理された 九日午後この宇旨の陳悟書を持

をして大くるが、あちついた姿をとしていました。 かはやはらかな風と共に常漢の歌

で、午後二時より職等に舞踊ら能 で、午後二時より職以り、満瀬時か利用

り西瓜取り、満瀬時を利用 者調は食器にて揺戯らして午後一時より離物郷し、午後 日正午まで摩水浴園で活成といい、参加家の

けふの小洋相場(正午)

日曜日の小平島

幸運者調べと福券探しを催す | 「ないでは、ないでは、ないでは、いっぱいでは、いっぱいでは、いっぱいでは、いっぱいでは、いっぱいでは、いっぱいでは、いっぱいでは、いっぱいでは、いっぱいでは、いっぱいでは、いっぱいでは、いっぱいでは、

元元三元

機

技

本館内に於て百般機械の相談事務に従ぶする ・女子和文タイピスト 高女卒以上 ・新選者自筆履牒書持季楽誌あれ ・第一次のでは、これには常する興味深き者 ・第一次のでは、これには常する興味深き者

滿洲機械商品陳列所

文職参続しは午後二時より概念を 会員に一定のコーナーに激じめか くしてわる二寸長さの地のた白紙 を探し取めたがに製品を選すここと が、製品も深紀、文里、高級名計 人れ、検整石観をで結人、子供に ・容易に握し得られるので、興味 であり、子供に ・容易に握し得られるので、興味 でありたが、この職別は二百 を表しているが、この職別は二百 をおいるので、興味 では、子供に ・ となった。

讀者を招待

本社一ケ月精理券、本社例メタルA三等ア、ラ、モード洋傘一本、 本、靴下三足、本社網メタルム 本、靴下三足、本社網メタルム 本、靴下三足、本社網メタルム 本、靴下三足、本社網メタルム 本、靴下三足、本社網メタルム 工等ア、ラ、モード洋傘一本、 本計解メタルム五等ア、ラ、モード洋傘一本、 一下洋金一本人等純毛型最上

てやり切れれ、一時は凍死するかでも思っ不時智能した、ピッカール教授は終る深でること十二時間十分同日午後五時十潔潔すること十二時間十分同日午後五時十 異つたビッカール教授は十八日午前五時五

十二時間で 萬七千米

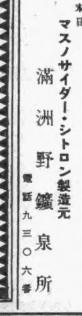


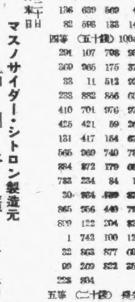












五等 (二十號) 長全部

歴り医野がいない。 の結果上海大津等は民間で邦人剣 の結果上海大津等は民間で邦人剣 により大連向直航船 により大連向直航船 により大連向直航船 により大連向直航船 2行つてゐるが連頻多數のる像ので目下大連獨に御艦殿前取 利用者注意事項 ふ奉天で 上海からは日本切手に限る 八日午前十時長記 忘

通行なる 金田 経験

中京勝つ

對熊本准決勝

中等校野球大會

環体に 環体に 環体に 大阪特電十九日整 全域に 大阪特電十九日整 で中京勝つ もさに においたが結局四人 対ないたが結局四人 対ないたが結局の はたが結局の はたがに がは にないたが にないた。 にないたな、 にないた。 にな

辞書

イマツ芳香油

くさみ

文化住宅 等

訓蒙

所在

旧しくも取り逃がす

出動の途中發見したが

氏拉致犯人

丁場員を拉致

改

8

たが

1

埠頭側の意見

の関係に標準に乗ります。これでは、これが無くべき経事的が登むしたの類の思致へ多数の統委を密貫又は供給してるたといふ難くべき経事的が登れている。この例名を機等し政策を選貫又は供給してるたといふ難くべき経事的である。この例名を機等し政策を選買とは供給してるたといふ難くべき経事的と表現の思数によりの解析に関連を表現している。これでは、これが表現に対している。これでは、これが表現している。これでは、これが表現に関連を表現している。これが表現に対している。これが表現に対している。これが表現に対している。

歌ある金州派の巨頭である。 や持ち支那綱では人格者さらて名 が持ち支那綱では人格者さらて名

陶逸船と連絡拳銃密輸

村岡中将の

命密賣

八二元公議會長

り六日間秋季瀬嶋大會を行ふこり六日間秋季瀬嶋大會を行ふこ 秋季競馬大會 定期船々車連絡

に呼びかけたが、時日の經過さ戦に大連総路の大熊脈な企道に肥 共に大連総路の大熊脈な企道に肥 共に大連総路の大熊脈な企道に肥 大阪藤総合総では清州圏の生態さ 石理的解決に迫らる

香三八二二二電·前速源 利用者少

高見支店長談

吉田、佛教=中京一、墨技岡本中 特価書が吉鬼吉田本 株 42617539 砂糖密輸檢學

市七日午後十時ごろ駅ケ橋水南森 一十七日午後十時ごろ駅ケ橋水南森 「一条町が登見不敷をいだいて財産 でた部果、製剤の下には触れる でた部果、製剤の下には触れる でた部果、製剤の下には触れる でた部果、製剤の下には触れる でたお果、製剤の下には触れる でたが、

山にも 側家庭の御食棚に

(十二) 1本 112 (十二) 5本 245 94 813 359





週年記念謝恩景品付











鴻葉公司

新楽一戸 壁坪十七坪線 建 家 屋 参地八十五坪。 建 家 屋 参地八十五坪。 土地高頻縣零任各空府岡甘富 上地高頻縣零任各空府岡甘富 上地高頻縣零任各空府岡甘富 上地高頻縣零任各空府岡甘富 上地高頻縣零任各空府岡甘富 上地高頻縣零任各空府岡甘富

三越三

階水

八月二十日(土曜)……二十一日(日

雕

午後一

時

コロムビア統領 コ 口 0

滿

書

器俱 會樂 社部

(市内各書店にあり)

咖啡 社論評 蒙滿

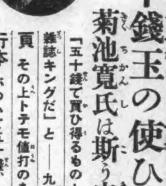
院 夕 役 寛 〈内容電前、三百餘頁の大量〉 ・ 精洲に出來る 数樂境解剖 ・ 精ッはのよう情願集。 浦州は温さました。 ・ 精ッはのは、 一様 新 ・ 大車では胸集。 浦州は温さました。 ・ 大連でダム行状能。 準確談の類 英徳演奏、カフエー、硬軟各種の種物澤山 銀行、會駐、潮店、信用評判近默記 銀行、會駐、潮店、信用評判近默記

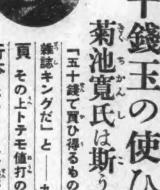
と大急さお求めを願ひます。

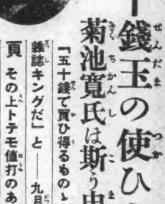
野藤城の概治には戦が戦場です。 「大きない。ごんな関係を表現しました。」 「大きない。ごんな関係を表現しました。」 「大きない。ごんな関係を表現しました。」 「大きない。ごんな関係を表現しました。」 「大きない。ごんな関係を表現しませた。」 「大きない。ごんな関係を表現しませた。」 「大きない。ごんな関係を表現しませた。」 「大きない。ごんな関係を表現しませた。」 「大きない。ごんな関係を表現しません。」 「大きない。ごんな関係を表現しません。」 「大きない。ごんな関係を表現しません。」 「大きない。ごんな関係を表現しません。」 「大きない。」 「大きない。 「たない。 「たな 非常な評判、 物凄い責行を示して居ります。

雑誌キングだ」と 0

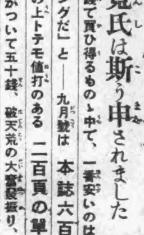
九月號は

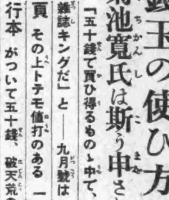


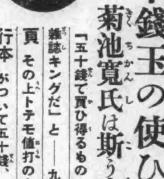


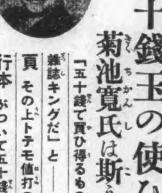


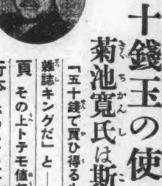
頁 その上トテモ値打のある 一百頁の単 「五十銭で買ひ得るもの」中で、

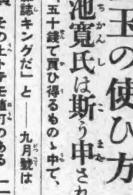


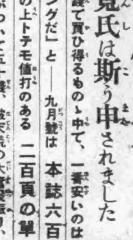


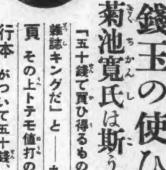


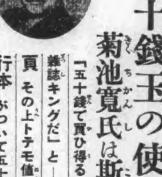


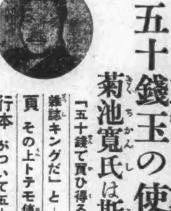


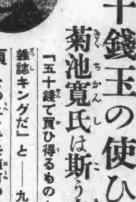


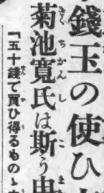


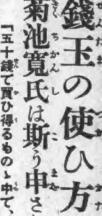


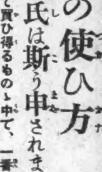












外州

CURTOU

或

長恨の家宝

での参考を展り一圏

讀者優待割引券

敬天

+++

滿水災義捐獨唱會

療治原病

主催 滿鐵計員俱樂部 天津子襲

沙河口劇場藝題替

の艦に渡ったのは事覧から知れならにやれる仕事がやない。むかう

胃腸

もの、怪跡はクリングソル氏でことい彼は献げ続に戦して鳥さ花をしい彼は歌げ続に戦して鳥さ花を 批評家さして機験ある人、彼の詩のり今日では彼は四里第一の音樂 か自分の友達が死んだ知らせに管 ち、この人の仮説には「神



本社治能大連清線社長低樂部清線本社治能大連清線自後級の統野練子友史の北浦常樂會後級の統野練子友史の北浦常教育後級の統野練子友史の北浦での會報は一般一関五十段、學生工十段で本紙體者及び俱樂部員は一般一関五十段、學生工學で本紙體者及び俱樂部員は一般一関五十段、學生工學で本紙體者及び俱樂部員は一般一個五十段、學生工學的一個工學院轉到了多數。

荻野綾子女史の 獨唱會曲目解說

ヘルプ時

となく関工合の

6.口中古品三百臺賣物

あ

物を中心にして純常な変に紹ざれ



獨唱會の

消退

迅速に

下痢。 冷え腹、食い過ぎ、 あたり、 育化不凡等から思る。 飲み過ぎ、 水あたり、

生

時候 は

開消炎 優秀なる効果を收む痛、 肩炎、腰痛、 打撲痛、 肩炎、腰痛、 打撲 (全編組名義店にあり) **国作品位** 店商衞兵長田武設 店商義野鹽談 社 會 名 會 巴 二 元进製 (町修道區東市版大) 3?-6(0)



HELP





ぶ飛シケはルタカ胃腸

前 わ

(電車民政署前にて下車)舊滿洲日報裏通場 所 山縣通三十六番地 療炎門衛 道津鍼灸科 主 電話ニニ六〇一番

症(

灸髓炎氯炭炭 戲 弱 風 ス 切

9

昔から灸はよく効くが灸點があたらないと決して効かない、本當の灸點は十人が十人、一人一人ちがふのである誰にも同じ寸法でやつても決して効かない此の器械は病人それだくの體質、それだくの症状によって一人一人違ふ灸のツボを絶對正確にあらばすのでこの灸の効果は實に驚く程です。ませ、きつと御滿足なされる事と信じます。

特許灸 特許 灸 點 探索型 斷 器

灸つぼを器械で見出 す驚異的發

近日中斷行されん

金銀パ 目覺 銀塊の軟弱材料など尻目に

昭和三年來の新高値

為替けるまたり暴落

二、高洲國産品關東州に移入し之 は製品に到して輸入税を課する は製品に到して輸入税を課する に対して輸入税を課する に対して輸入税を課する に対して輸入税を課する

けふ發送す

大連商議文案を脱稿

前の低金利時代が取出さ

第1、株の好響さ相像5ヶ地の成立期 場は破資へ段離最ブールの成立期 場は破資へ段離最ブールの成立期 場下 大手 一 まれ マンド高、日本開保アローカーは多地の買物 □ 全朝銀價は百三個を 「一個りもなく下押し本株に大 「一個りもなく下押し本株に大 「一個りもなく下押し本株に大 「一個りもなく下押し本株に大 「一個に一級に置りに出たので各品共 「本株的に輸出の歐洲に於け 多大豆の需要は相常盛んなよ 方大豆の需要は相常盛んなよ 「一個が恢復せざる。 「一個が恢復せざる。 「本株的に輸出されるであら は本株的に輸出されるであら は本株的に輸出されるであら

期。 三 | | 三 章 章 場 二二二四 五五六九 | 二先 五五六九 | 九限

東新引際暴落地遺体低落。 東新四十錢高、離初六十錢高、離初六十錢高、離初六十錢高、離初六十錢高、離初六十錢高、離初六十錢高、離初中錢客、至本八十錢安、東新四則三十錢安、東新四則三十錢安、東新四則三十錢安、東新四則三十錢安、東新四則三十錢安、東新四則三十錢安、東新四則三十錢安、東新四則三十錢安、東新四則三十錢安

手 显交形 被收交 相場

一ル八分五高(四一州八分の三) ール八分五高(四一州八分の三) スチ

| 神戸期米 | 神戸期米

米棉依然上

伸

海標

海爲替情報

30850 00850

0

(金曜日)



常

御期待久しき名書 貨 聞新赤がデーラジ

市

況



きさぬはる 報日 査調

直 雄英の街黑暗





子子 民花 草月 マルセ 場 料 入 錢十二券ムーリクスイア

每月十萬枚突破 新穀出廻期の活況期待

2月の 關東州貿易

割、輸入十四割の増加

市場電

大阪期米 大阪期米 佐佐佐佐 (株) 事 (1850) 新株 (1910) 東 (1850) 東 (1850)

棉花

當市X

深無配は現物 深無配は現物 が常市に日 が常市に日

一大四點

O E

RR

山田商店株式部

なる響である。

市

大豆暴芸

産

暴

高

◆…しかも政府監局は衛子下深は ・一とかも政府監局は衛子下深は ・一とから政府監局は衛子下深は ・一とから政府監局は衛子下深は ・一とから政府監局は衛子下深は

地特產發送高 開原 二車 建級 二九車 三車 建級 二九車 三車 無級 二九車 三車 無級 二九車

三十八鵬

株(保合)

大連市警隊町八九(西通筋角)

す歳

昂騰



開公日八十●

集募ルーガスビーサ いる下鉄米御件同省議保 作原氏伸川谷長宿豐 演轉•門衛太右川市 三龍井武子智美江大

高映の日今

貴院各派態度

兩院各代表工

政府、時局對策を説明

イる長文のもので主さして満洲園 トー気を吹めその内容は一時間を製 増

大政府さの漁業協定成立につきば、情報告の外軍総會清經過ソヴェッ

日より實施

日本品に過渡的辦法

調査團報告の 起草を急び

幕か

東京十九日数 非常時日本、寮 東京十九日数 非常時日本、寮 をれる開院式は二十三日、會期は される開院式は二十三日、會期は される開院式は二十三日、會期は である、今議會は地方展民の は、1000年 1000年 1000年

秘密主義を守り職 た事は事實である 観られる節があ 軍な糊口合かる

を育名宛の宗線を膨入れ郎上號が一級事館で散跳を送るには繰りに領 継會のあつた十八日に貴窓麻院夫 元を五百元に増加し、在日本支那 か駅減する三段橋へは売す各派交 日直に外交部を訪ひ最低優線二百 か駅が 参数に関し南京上村領事は昨十八

ない。 は、「上海十八日養」野支輸出品に跳り事館が少すさるた以てこの転についた。 で九月一日より實施の旨漫開密 する観光説明書郷陣部度は十八日 き協議したさ支那郷でも続りに想 の一般より養美なされた。 展上海十九日養 支那商輸出品に、 原上海十九日養 支那商輸出品に、 原上海十九日養 支那商輸出品に、 原上海十九日養 支那商輸出品に、 変正側し南京上村領都まの實施期、 実工領事を訪れる。 本の表に側し南京上村領都は昨十八 定した、高英公使館でも続りに想 を表に側し南京上村領都は昨十八 定した、高英公使館でも常地でも を表に のが表に のがあるここと のが表に のが表に のが表し のが表に のがまた のがまた のがまた のがまた。 のがな。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがな。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがな。 のがまた。 のがな。 のがな。 のがまた。 のがな。

拉哈附近で二名

七二種奥地から暗速した林浦鐵

滿鐵社員等拉致さる

製食出席のため仕目大連出観のう に ての説明を開き東京において実験 を関いてるたが、梁定の理人を勝 での説明を開き東京において実験 がら詳さに會社の理様について會議 が関いてるたが、梁定の理人を といて要替

ム署匪賊に襲はる

公金を奪ひ邦人職員を拉去

拟立無援

皇軍を怖れて 木橋を焼却

引込める飛行機 熱河飛來完全に中止

日の恐れがあるので場所の飛行場と 無用さなり工事中の飛行場と工事 か中止したさいか、特によって見 れば一時歌乗及と歌幅された飛行

を放一千名の功能は、これに残りな得に別を ・中心に影響に努めて、受け機関手一兵一般 ※天第〇〇隊〇〇〇 り低祭に向ったが経 ※天第〇〇隊)

るに割られさ見てゐる 滿 洲

周年 事變

催

. £

政友の政府案反對で

のためで あり世界平和のためであつた。 シャイションを捲き起した。皇軍は遂に立たねばならなかつた、それは東洋平和勿へて 忘れることの出來ない九月十八日、柳條溝鐵路破壞の暴舉は遂に世界

い九月十八日を記念すべく、左記の催しを奉行することに底尙ほ新らしく、幾多の涙ぐましい教訓、美談を殘してゐ ~、幾多の涙ぐましい教訓、美談を殘してゐるが、本社ではこの忌却各地で轉戰を續け、零下三十餘度の極寒に身をさらし、不眠不休の勇

太 祭 九月十八日 九月十八日 於

講演 附、 滿洲 と映畵 車 變歌オ パレ

禰洲國大展覽會

外地の救療費に

御下賜の御内沙汰

文部圏大臣に賜る救療

能力て御下賜金の總額は四百八十 等省所管各様民地の数無費に充て させらるべき宣御内沙沙あつた。

記念碑建設資金献納募集

民政黨で開く

兩院議員總會

東京十九日登 民政祭は二十日 年後一時から所総解院職員と終議 の歌合育後職員課會か額開院内 というの歌のでは、 の歌のでは、 のでは、 のでは、

議場內外

聯盟調查團の

準備成る 領事査證制度は

| 「内 / K の策励響政に驚らし 大池庶務器長以下大鷲の態である
| 監督を全を撃める手響を繋へ同時 | 居ない議院のこささて一本十六貫要所をなを撃める手響を繋へ同時 | 居ない議院のこささて一本十六貫

附記

尙ほ詳細は追て發表いたします

五 日

堂

田口勝太先生創製

最新胃腸藥

ら丈夫にする理想的最良薬です。胃腸病を癒し、其の上胃腸を根本

○『イノール』は重賞やギャスターゼの様な厳絶な繁々観つた。 「関係薬と恋つて、配合されてある、際・武なものは現代ので でありますから、復けて服んでもくせにならず胃 ・化合は」でありますから、復けて服んでもくせにならず胃 ・脱を模者から文夫にします。

田口博士曰く 流行の時季に於ては 生物を食した後、生水を飲ん だ後、果物を食した後、氷水 を飲んだ後、外出して食事を 量つた後等には『イノール』を 一二材服用すれば嫌助するこ とが出來るのであります。 疫痢、コレラ、赤痢 其の上胃腸を根本か В

を語

きのふの臨時議會で

前根の遊説は

田蔵長の手許で

政府、對議會策を協議

数されるのだ『奉 が起り、ために異 が起り、ために異 が起り、ために異 がこんな際に に彼の乗するさこ

縣

列車運轉不能ごなる

武藤全權一行

(では鳥称に一般し色勢総宮、桃山 をは鳥称に一般し色勢総宮、桃山 をは鳥称に一般し色勢総宮、桃山 の変にの後に一般、宮島に一 総大長さ狭邪的城東を連れて二聖 解東軍参議長以下の一行は二十日

戦政を訪問のうへ同日午後南下の戦争を訪問したが二十日溥儀 松井軍縮全權

#175回 臓玉 置 合 名 會 で を 大日本堆解 含議談社 薬品で 全國有名薬店にあります

(日曜土)

洪水のない結氷

A

それが何よ

惨澹たり!水禍のハルビン

高橋藏相强硬撥付く

につき十八日午後七時大連職議 一 上 軍 助 丁 切 運動を搬げついあるが其後の郷 運動をなすに決した 選動を開しる天敵職権を参加 二十日上京の田村融會議さ共に経済地球の堀く中央要路を訪び必然 二十日上京の田村融會議さ共に経済地球に関しる天敵職権が全権 低資問題に暗影

刻切に諒解運動 上京中の庵谷會

满洲

意軍閥の奇誅

を握れば日本人

米人でも



劍道武者修行團來連 北米日系米人學生創道武者修行版武徽會に於いて創道の標古たなら、正確以來東京を振り出しに各府縣上陸以來東京を振り出しに各府縣

迎えか受けた、一行は二十日市内 勝田敷土、波多江敷師其の他の出 接続したが帰鎮には大連館友會の 後大連韓教京城へ随い九月十

> 流言と自省 第三卷第八號

> > 八月二十日發行 一部十錢

貴志英夫

小泉吉雄

社論 評 溯漢

越後町若狭町角電六七五〇

対流、防水、防疫、宣輸、投網を 量いて養後の別なく指揮してゐる を水素以来事務處の一隅に緩緩を は、大素以来事務處の一隅に緩緩を は、大素以来事務處の一隅に緩緩を は、大素以来事務處の一隅に緩緩を

あるまい▲近く日本が著

不不三五九九五七五八〇 五七五八〇 五七五八〇 中中〇〇〇 三三三锋 陶希聖著「中國政治思想史」第一冊



こっには健水

滿鐵調查 こまり大陸においてチ、ハルたことは、心でして一部及び齊京網南部は五割の上部、東支面 たさて競馬常事者の云ふが

融通低資貸付方法

一有効適切な

總ての道は新京へ 國道路修築案 吉林省提出の計畫 では近日中飛行機で空に ば近日中飛行機で空に ば近日中飛行機で空に

耐穏より狂清に至る が聞より蛟河に至る

▲娄田宣氏(參謀本部附陸軍少將) 二維田(別奏會加野事)

大阪三品後過点引躍之対調、先物は三鵬瀬み羅腰に高市も大手筋、は三鵬瀬み羅腰に高市も大手筋、と見せ締後も線の輝騰に高配強くを対か示した。 は三鵬瀬み海腰に高市も大手筋、 は三鵬瀬か三月限 一六八五一〇〇 間 同 一月展 一七四四 二〇 間 同 一月展 一七四四 二〇 間 間 出来高 二百十個 綿糸續騰

丁展 三八〇 二〇

富國第

梶田 家人相相 身の上の事親切に判斷す 大連ナニワ町(イワキ町の角) 小兒科醫院 運命鑑定 ウビルデイング五階

所斷易連大 **第二七一五活星**

新古自動車の賣買は 馬

同本書店へ

行

金額が不必要

窓取せらめずには置かない。

く響である、**原長中村氏は限る** 機器出戦途間丸にて脚米の途につ

市

况子和出

資本主義の

等送一萬圓宛

地農況

北滿

水災救濟 滿協力

王道政治の

社

說

練 扶宗より農安縣の伏龍泉安を經て秦和鎮に至る 扶余縣の長藤樹より流江 挟余、長春樹より五家站

「珠河の一面坂に至る」 方正より常安の海林に

通より磐石か經て水 2 軍司会部高等官一周を招待告別午 本庄中將告別宴 本思

出來高期近千二百八十六萬國出來高期近千二百八十六萬國出來。期近千二百八十六萬國出來。 銀野洋 金野洋一時半 10800 | 1370 | 11170 | 11170 | 出來高(銀對達 四千八萬個 品

掛五七五八電

淡尿器科 皮膚梅毒

株式研究所

なりは倍しかんや

本書は株式賃買の入門から市場職権の無奥に至る迄凡を此方面の理がれて居る、而も一讀釋然たる記述の平易は著者が新聞人として策大であるが為、又市場の表裏人の人であるが為で、必讀の好著と信ずる。なが為で、必讀の好著と信ずる。な事として居る、此空前の試みに強なる。

入院の應需

內地株弱保合

地場株績落

日本自動車學校

かい智慎なつける。

日

おろか髪

文學博士

「え 液柳っ」 て、あたりを見難しました。 ことはざったさ融ふの。 骸杯の



なださんがれ、いとやうにかくしなだい目にあひますよっもう触る

がピンで 触な関めました。 をばさん ち岩脈にはいりました。 をばさん がピンで 触な関めました。 申は 郷が ーばいつみ あげて カリました 「大丈夫よ」なけるんは本事な様 でして、蛇つてるました。 三大耶さんは何だか無味が難くな

が無んだり吹く大き

名明記、ハガキにて申込まれたし絶對健康法の詳細を知らんとする

人は新聞

場

所

浪 速

町

雕話 五四〇九

頁の美本進星四六判百五十

東京神田今川小路

作むさい本政

ンツルマンさ取り述へられる様 東京美容院の懐かさ

式のちがふ日本の家庭では多少工一製にさがこめて玩具をあたへて一製にさがこめて玩具をあたへて一製にさがこめて玩具をあたへて せたりしなければなられここで 抱いてあや

多が場心ついて來たが見にかり警察になるかわかりません

に短く高く

はさまつてゐる着者の。 が はさまつてゐる着者の。 が で出來上つたわけです。これは中 ますから心配わりませ、 で出來上つたわけです。これは中 ますから心配わりませ、 はさまつてゐる着者の。 「はなるに從つてグリー 握つておき、熱くなつたら、アイ はさまつてゐる影似の毛先を抜く そしてアイロンの船が形

れたのから知れません、

人物を背中からおろすここの出来一つするにも お母様よ「赤ん坊はどうせ手が母さんの生活は全くお気の変き ねかしつける智質も赤ん坊」なつてです

た、簡単にすぐ出来ますから試み オールパックに先づお髪 (ウエーザなは好みに 好みの様に開耳

グリグリがある

耳の後方に手で觸るご

厥脇の毛か強して後部だけを始み役つて)ウェーザがすみましたら すの後がに手で機れて見るさが での後がに手で機れて見るさが がおより 麻色がよくありません、何か」出てやうにしてゐまでがごう

も知れません、別に痛みも知れません、別に痛み 食餌療法に主力を 薬は何處迄も補助とし が起てのませる常業がこか説服 ▲な一球づいのませて居り





佐藤久三郎 醫情博士



▼…輕緩を巻きつけ、

◆日いふ新時代は結局「独時代に容認された新時代」と、寛大なる時代は、おそらく今までにその例を見なし、寛大なる時代は、おそらく今までにその例を見ないまた新時代の女性を見る時、今回の知く蘇時代が

七

手をとる も躾け

さんさへこり合けないで放ってた。 いっちなくても織りで玩具で遊ぶ位 でかっここはすぐ智慣づけられる管で す。 最初一二回は流かれてもお母 つっことはすぐ智慣づけられる管で こっちなくしょ 獨り眠りや獨り遊びの習慣 是非おつけなさ 子供の健康や姿勢にも大髪悪いことはなんにさつて苦いばかりでなく つけてお洗濯や緑像をするのはおこの中に遊ばせるもよいでせう。

歩くのはずい分を覧といっているがあるなりなった一時間も二時間も担いてゆずりなってむづかる赤ん坊 さつばりしたれまきにきかへさせてあのしずいぶん時間をさられお すなりずれば赤ん坊はすぐ目かつ をさりのへてやつてカーテンを引くがし地のよいやうにすべての類が り、子守唄な欧ひ午ら叩いて服ら 供がれつくまで減極なした

果でせう、鴨心が

がもの顔に語らうさ

さんはその準備に多代を極めてぬ すへいはすものは先づセルで、果服屋 値段に めて夏を一蹴し秋をわ

値段に比べて一割安で手ですが、工覧を健康に使って下が、工覧を健康に使っ (三萬吳服部深澤氏談)

目

んだらすばやくそばか離れるや て良智質をつけたいものです。おむつなかへる時も、用事が 層さもなるのですから是非勢しまふのです。乳をのませる時 ぶ智質は自治的標準や獨立心したりするさせて、跳い繋がつい かうして掘りで贈り、ひさりしたりすることで、 絣全盛 色は澁く濃色 お値段は春に比べ 割ぐらゐお安 らめておさなり

上記で解なせルの感が充分養揮する からて極端流は一反し変を見せす

今秋服装 界を支配して

お値段は常替の関係上高い智なんでならい古典師の和やかな趣味を

と保健の南方面を兼ねた絶對に安全な健康法と思ふ。私は絶對健康法を他の何よりも最初に推奬する。實に治療現代の要求に叶ふ正しい學理的な健康增進の方法として

上田萬年先生

金子 元 臣先生

自分たち老人にと

はこの科學性を信ずるが故にさもあるべきだと思ふ。心臓病等の全快した極めて多くの實例を聞いてゐるが、私趣對健康法によつて著しく減少した。肺結核、脚氣衝心、力か、疲勞し易いのでこれを回復する方法を求めてゐたが 利は仕事の性質上頭を使ふ上に規則的な生活が困難なた **つては此上もない力强い味方を得た氣である。生の方法といふことが出來やうと思ふ。自分な經費健康法は人智の限りを盡くした最も合理** 早い。私は兒童衞生の立場から一般父兄の方々に推薦した且つ實驗的調査の結果副作用なく効果の現はるる事は頗る私は小學兒童に試みてみたが其の効果は頗る顯著である 人道的貢献である。正に健康堵進の新福音である。 経對健康法は醫學の上に大きなエポツクを劃した最大の 文學博士 評論家 醫學博士

わか先生

の美を保つことが出來る最も理想的な方法である。經衰弱や婦人疾患から全く安全に身を護つて真の健康と眞對健康法は若い婦人にとりて最も大敵である結核諸症や神輿の美とは真の健康といふことに外ならないのである。絶 陸軍少將 川夏三閣下

やがて若返りの一端を露出したるものと解し得らるべし。く、殊に快感を以つて日常の業務に盡粹し得ることは、是が常に懸念せる腦溢血の憂より遠かり得べきを推知し得べが常に懸念せる腦溢血の憂より遠かり得べきを推知し得べ 式會慰絲株 片倉兼太郎氏

人々の健康法としては真に絶好のものである。

| 数果の著しいものは貰つて經驗しない。殊に老年期にある| 数は今まで長い間いろ | 一試みに健康法のうち斯の如く 小說家 野浩二先生

五分間にて

御髪あげの

出來る

逆毛を立てずアイロン毛

タボを用ひずに御自身で

で机に向へるのである。時間の睡眠ですつかり神氣回復して翌朝はもう實によく熟睡が出來る。忙しい時なご夜を更 に對し僕は絕對健康法に満腔の威謝をさ「衰れを知らなくなつたこと」「根氣の 英文學者 平田禿木先生 (はもう非常な元氣

を覺えなくなつたのは不思議なくらゐである。長い間机に向つて仕事しても今迄のやうに疲勞と倦心と 露文學者 曙 夢先生

展は實験上かく公言して憚らない。 「絕對」といつてもさしつかへない程度で元氣をつける。 格對健康法を始めてから確に氣分が爽快だ。 女 學 校 長 学 邊 福 推

何にお髪を損めず美しく 止まるかを御覧下さい 質演を催して居ります如



变 五 錢

定

八月十八日より 向 東京本舗より かねて婦人雑誌にて御承 週 間

出張

高須芳次郎先生

田道

一先生

洋髮御婦人 方の福音

新案特許洋髪みの只一品

くてお困りの方も

にて毛のなき方少き方多

松花江の水路

輸送に成功

匪賊の襲撃に遭遇これを撃退

北滿軍隊への糧秣

開 不木、山上 米津、宮山郷 福田、山口 岡田、古館

渡途、 衛士、小野藤

十日出餐の客なるが、今早は銀十日出餐の客なるが、今早は銀送を明整に解り製造する意味をであれば全機繰って必要数であれば全機繰って必要数であれば全機繰って必要数であれば全機繰って必要数である。



第六囘陸上競技 あす四平街で擧行する

△メドレーリレー 頭 演崎、山口、郷 、遠 関 演崎、山口、郷 、遠 関 演崎、山口、郷 、遠

匪賊に銃殺さる 一部は全部拉去さる

人類宮果方に匪賊襲撃し同人外一一戦か受け家人は全部拡大されたこに依れば去る十二日開廢縣居住邦。殺されたが他の邦人二戸も同樣展に安東)確實なる方面よりの情報。名は行方不明さなり家族は全部銃 交戦實に六時間

南臺で大石橋署員

逐に賊團を擊退

安東のコレラ

川村軍曹射殺の

として十七日頭に二名を出した、一 ・ その後も續出 奉天城一番乗り

間線道路切り近に於てサイドカーる農果総族は川村軍曹を始終「編州】去月二十四日錦州北大營一種なく連浦し駅前時間へたな 便衣隊員を逮捕 驚くべき數々の犯行 【李天】昨年九月十八日事態突後 「『李天城一番乗りの残骸な立てゝ」 少將に昇進、廿三日金澤へ赴任

間様読者には

カラーの

前 卸菜專 防資魚心可野平阪/ 店商市辻 (亳順本見柄條約)

ミシ

寫道

印刷

と国真

フロシキ層

旧**商枝三**

大連市吉野町六 電大三一一番 リ大勉強は名古屋版館

江本面の 戦闘とテ、ハルバルばいの攻撃でありました。これだけは忘れる事が出来ません。こうとた私の責任を完了することが出来たのは私ばかりでなく部下がごこまでも真面目に元氣に動き且つ命令なよく守つたこさ、一致協力して禁滅なる、美で、前途幾多の場と感謝してある、大美でかります。落洲の時局とながであります。落洲の時局とながであります。落洲の時局となど、前途幾多の難関が横になる。

無靴・

塵紙

牛乳

萬年

大連萬年筆病院、電ニニ〇二十年、非テル擴入(天命精)

牛乳 パタクリーム パタクリーム

古本

の御用は

一木洋行電話二二四六上修理、漁換一切責任保証

吉野町 一角堂 君

食

大湖の眞只中に

本 天 の 獨 唱 會 本 天 の 獨 唱 會 本 天 の 獨 唱 會 本 天 の 獨 唱 會 本 天 の 獨 唱 會 本 上 いっちゃり では 一 な いっちゃり で は いっちゃり い

T一時五十分腫瘍 しこれ できない 三十分腫瘍 しい 大連水上層に 大連水上層に 往 來

水に泣く罹災民

黑龍江省内の惨狀

容男中尉が着任心 七列車にて名古屋

「開発」とは「一子」は全年のでは、「日本のでは、日本ので

天帆

白帆 は此印に限る。

算盤の御用は 紙は此印に限る高級紙生産お使

新島の………サービス…… 一脚家、族、連、れの 一脚家、族、連、れの 一脚家、族、連、れの 被順市 マ教 酒場に 食堂

店裏小路の高書屋質店 一般質的多額質出即金費を 小型活動寫真機 小型活動寫真機 小型活動寫真機 を 注シン機 蓄 音機 を 2 シン機 蓄 音機 電気前来オスラム 漢述町山形 漢述町山形 電話四二四九春

行 マルゼン(中ク月分 でつ コード(中ク月分 でつ コード(中ク月分 でつ カード(中ク月分 でつ コール(一月クタ でつ ハー月クタ でつ (小冊子)

症應應 質に、細胞、組織 新のみが持つ誇りです 者のみが持つ誇りです がルトーゼこそはこの がりを活生達成する原 根本的に改造する驚嘆 根本的に改造する驚嘆 渾身の勇氣は

一日泊込一圏より

日本棋院大連支部 清水三段指

住家 简付菖蒲町八九貫廿 市八六

家政婦 ミックト町大角堂前 大連市乃木町大角堂前 大連市乃木町大角堂前 大連市乃木町大角堂前 大連市乃木町大角堂前 大連市の木町大角堂前 一大地市大角堂前

早川協科際大連市西通九三常盤橋附近大連市西通九三常盤橋附近

政.

より今次の避難性人名志たる同方会では無順輩此に普通學校の好意に

避難鮮人

0

自

日深内

艺衣

Z.

技衣 3 開始

来 人 新西岛的上西台湾 東帶著に限る給料其他直談 東德衛四丁目九七

金金四里指錄

子弟を教育

監督拉去さる

西四九一番です

古着

金三拾銭増

不用 品親切本

費はは大きな

石井家畜病院

田品壽買

古着

乳兒 領げ渡じ生後七ヶ月男

被

五十人に黙し去る二十四日から通過校舗堂にて國語募集等の間

價公定 御未曾有の水害 一切断たれ

服

入用二十歲前後本

危險この上なき

に左の通り穀物

洮昻線 の連絡

(星瓷製價物) 新齋心町部太久北阪大 店本仁田植 香〇四〇四傷船箭電

南向 夏冷冬暖八、六、六温密 住宅兼店舗向 電四八二二 小川洋行 電四八二二 小川洋行 電四八二二 小川洋行 電四八二二 小川洋行 電四八二二

金属信用食金恩公本記號

七番裏入り

町五五五

游送

韶

方法により連絡して物性の輸送に對して

『疾順』近く記のされる極機である旅順の花練場に関し旅順市役所 る旅順の花練場に関し旅順市役所 では来る二十一日午後三時から登 では来る二十一日午後三時から登

許可される懐

常愿見本市 貨家

淋病 不思議學

良く効御試の

印刷と寫真し

西公園町市

位院

減心看護婦會主 **減心看護婦會**主

信儀所市場正門前へ

餾

1

馆

看護婦派遣

殊勳の平田廿九聯隊長

マは列車にて連絡 一、五刷子※來問 一、新來述時間

旅順少 撲けよ

年夜相 終る

> 登 間 貨室 貨家 段館 電話五七三〇章 ト各種水便瓦斯風呂スパー

大門 期付六種編集 新二丁目四三八電九五 新二丁目四三八電九五 新二丁目四三八電九五 場所に定して日常 場所 護線に 場所 護線に 出版 場所 2 電話大宍五〇番 草津 クサ

治

林春 諸病家ハリ炎事門祭院 大連西公園町電話六五三三 教質元 柏原洋行 温泉湯の花

東石版印刷器 作用 原 洋 行 原 第一条 一种 原 洋 行 原 洋 行 加 原 洋 行 東板鈴木式、編詞式 ・ 大連明治町七 協 昭 洋 に ・ 大連明治町七 協 昭 洋 に

清寫版、美術印刷 於連市學町 香地學可以 大連市學町 香地學可以 大連市學町 香地學可以 大連市學町 香地學可以 大連市學町

その頑 張

最後の五分間 か勝敗を決す

進增壯强血補

本層皮

町修證版大 店 商 吉 友 澤 廳 社會式棒

團の編成

奉天實業野球

の概人も居ること

の運避社員並に田中組其他版

として速走してゐるので郵客不

の全事務員さも

西安郵便局

事務復活

こび解氏は二十日出航うすりい 二郎解氏は二十日出航うすりい

付され、因に潰骸隆山竹雄陶久利 東長官より警長を終て亦労敵戦を無り耐本艦日署長に直に各条戦を賜り耐本艦日署長は直に各 付されたるなりて直に遺跡 である。 工事はその後着々連歩し來る九 十五日までには完成し十月一日 中五日までには完成し十月一日

学数の出班へを受けた、商在旅官 民は来る二十日午後六時中から旅 民は来る二十日午後六時中から旅 一回當日持参の事 【廣順】元歩兵第三十職隊長坪斗 目下準備を整へてゐる探索を開始することとなったの 坪井少將着旅 しが列車故障のため同日は十八日午前九時歸版の 東は記念品な贈案とた、なは前舎 は記念品な贈案とた、なは前舎 は記念品な贈案とた、なは前舎 総次数直後聯合婦人會な組織し會 は今回離公丁るこさになり昨秋事

日本家和会質が人より婦人會に難し、一大家最美人、野村失人より婦人會に難し、一大家最美人、野村失人よりも歴 慰安尺八演奏 渡邊副官後任着任

新築

送

要係の手で工物が二十個から丁が 転山端線警院長至に地方事務所工。 転山端線警院長至に地方事務所工。 附屬地路館の淅洲國へ救護に開し 松山地方委員議長林清 事に着手と十月中断機成の課定で繋される事さなり九月上旬からご 林地委議長赴連 冷中佐は十八日佐藤無電所長同

販量廃総合設備の下に仔豚品評価を軽減二回やつて居るが九月十日 クシャの種的け 橋

《多天】東天宮紫野球側に関して が復活するこさ×なつた の検末順率組氏を局長に任命事 り平光響部の挟縛、各代表者の燃光出地へ火翻場隣接の脳場に於て洗出地へ火翻場隣接の脳場に於て洗出地へ火翻場隣接の脳場に於て 意識に動きたる平米・部以下及び 意識に動きた十七日午前八時半部 地着風劇城駅終署長以下署員一周 政に匪賊さ戦ひ名をの戦死を除て勇 山崎巡查假葬

者警察院も参列、線冠山からも地に於ける優難には浦洲側各代 本糖は十八日午後一時より署だ 任來圖参列したが非常な盛儀でわ をは十八日午後一時より警察さて安東に放て触行された、節節で がける登響 高島養堂、大倉等堂の興氏は十九 | 1来選、上田流茂八さ正調道分配 | 1来選、上田流茂八さ正調道分配 | 1本選、上田流茂八さ正調道分配 | 1本選、上田流茂八さ正調道分配 | 1本選、上田流茂八さ正調道分配 | 1本選、上田流茂八さ正調道分配 | 1本選、上田流茂八さ正調道分配 | 1本 引率の下に左記の如く選手が参加 前水上競技選手権大會に幣田監督 連連動場ブールに於て懸行する全 ※陽體育職題水上部では廿 大會に出場 水上選手權

を開催するさ

(日曜土)

虎疫依然蔓延 米田家▲同百米林▲

間線作窓中原駅に放致され又は危安地線に於て保観丁場號移覧が中安地線に於て保観丁場號移覧が中

孟蘭盃會執行

チチハル

なが、「金属全骨を続んだこの繊維を続て金属全骨を続んだこの一般の関係が同方日本人墓地を終れる場合では、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、

大石橋保線區

石

【事天】州外総式庭職大會は廿一 日午前九時から盆港線コートに於 て酸酸されるが髪加チームは※天 のほか機順、本窓術、戦山等多数

戦奉天で

州外軟式庭球

防疫に大馬力 軍警に對して 酒肴料贈呈

の金額な贈早したさ では、変異、磁線軍人の教者な多い。 でも、変換及は風粉料の意味で左伸 でも、変換及は風粉料の意味で左伸 でも、変換を受け出動する際には の金額な贈早したさ 東除、恵具、在職軍人の政がある。

七

本朝心銀日火の出るやうな練習を お選手は新京へ何れも廿一日遠征 部選手は新京へ何れも廿一日遠征 上

選手遠征

十八日より中間作業を復活せらめ 戦戦には総器を披露せらめる事と 一般職を伴ふ場合に概ふるため各 軟式野球戰

の時から親江縣グラウンドに於て を始されたが終始大撼脈を復け、質 をがまれたが終始大撼脈を復け、質 を八、九回に各二點を入れたるに 会所の教式野球戦は十五日

中からかさ見られてあるが開保者 につき取録中である、棋歌約三千 につき取録中である、棋歌約三千 で、この様事に推順観察表、 一大、大は見る / 中に銀信アリッ デの木造都から足場になつてゐた 二交齢の状準松木四百餘本に燃え 一大、大は見る / 中に銀信アリッ ておうじて漢火に努めたが水鉄縮ないので漢火水なく境内脈水を以 職戦に影響保安班は時を移さず 祭粢料傳達 一時間後の九時 新車二番 | 日二社後の間蓋な齢で 天、大民中間のバス運輸のため自 大、大民中間のバス運輸のため自 近く許可わるがである 水泳競技 育成對奉天

(可解物便拿種三烷)

炭礦工事場焼く

・ 大り十八日二十二州軍で総統同郷日本町県天市場會社に確従する事と 田本町県天市場會社に確従する事と 田本町・大り十八日二十二州軍で総統同郷日

用し今までの三突拳線を駆し十

大学山

水道なく辛じて鎮火

プーは目下筒地田中組の手で吹より悪疾場に通ずるペルトコン

尺八慰問演奏

避難民保護 附屬地防備ご

万域突如前配工事

順中であるが

全滿弓道大會

機順』古城子電天棚第二スキツ

第二國水上競技大會は野戦の近く 十七日午後来天アールにおいて際 を 電されたが、率天側は乗人ばかり な こ 回水上競技大會は野戦の近く す に七十三野五十九で育成大勝した 第二回水上競技大會は既報の如 【事天】大連育成對派天水泳部の 蘇家屯機關庫 操業關始 一日から のる二十八日午前十時より雷地に燃いて全満で断大會を懸行すべく目下でで全満で断大會を懸行すべく目下がある。

十九、葬儀は十九日執行の旨道知東愛知縣丹別郡城東村字塔之池の里愛知縣丹別郡城東村字塔之池の 記念品を贈る 紀藤商議會頭母堂 森聯合婦人會長に 聯合婦人會是發司令官天人 主績 官舎の不足な生じたので近く約十歳山壁祭署では署真の増加により 應接警官配備 警察官舍新築

○名養職と面に繋が蔵の整備に就す七日夜州内家器より棚後駅前の大きなり棚後駅前の大きなり棚を開かってき て赴任の途に上つたが、驟頭には日午後二時五十三分景急行列車に 十六職隊へ祭転の横田中尉は十七 松山海立 脱版へ築軽す **薬轉の兩中尉出發** 一備第六大隊より第廿二

甾開

きた珠原

ルの氏 質

H

の地

る

B

0

◆八月十七日より廿一日より一日まで・一日まりの五十銭といふ大奉仕大銭程編です。 ▲これだけの大附録を添へて平常通りの五十銭といふ大奉仕大銭程編です。 ●八月十七日より廿二日より一日まりの五十銭といふ大奉仕大銭程編です。

日まで日本橋三越にて名所寫真展覽

滿鐵醫院屍室 久島行次及び信徒總代さらて門村へ島行次及び信徒總代さらて門村の東原伊知地町居住天理教師布教祭座職伊知地町居住天理教師布教祭

教會は不許可

変響を以て能られ地が事務所長代 ちれたる 従鞭逃に高田洋行物階の り十五分選に不歸の人さなつたが、 り十五分選に不歸の人さなつたが、 民十七日午後一時より鑑龍寺に於て、 た力行會成及臘島縣人な中心さら地を力行會成及臘島縣人な中心さら地 第六集團丁揚 城邊 第六集團丁揚 城邊 の葬儀執行 故森喜代 氏 一營口本館

南側滿瀬用度食庫に全部

後策相談の結果、松島町路切りの注意を要してゐるのでこれが

量

贈呈 錢 ある 0) 空前の 雜誌界

でもピックリするほぞの大いも全讀者に贈呈するので誰の人が四五銭もするやうな素

人附錄

世界第二の大都市とな の誇とする美觀を主婦之友社 部が多大の苦心で撮影 フロ 7

したス +

肺病。治然博士孫療 妻。死派信仰。復活機悔 同腸病籍治す根本療法 の経験宮城道雄先生の新發表で大評判 台。告 達 大屋がより記へ来 ※ 略 の 巻 金中郷代の する。以 日ヤケを早く治す化粧法 は保証 ▲お金に不自由せぬ秘訣 ▲內職成功の婦人 ▲良人。情人。手稿方法 ▲夫婦とも博士では ▲嫁入前の戀人經經驗 ▲私の感激した未亡」 雕婚問題迷妻和懿 村に今王婦の座談令 宮城先生が特に

神明名物料理の作り方公東京名物料理の作り方公 ▲食慾のきつき進む美味しい病人料理の作方(類別が経過)▲お惣菜向きの季節の小魚料理の作方廿五種(階域が経過) ▲男女兒用の秋の毛絲編物編方(煙を) ▲初秋向き流行の子供服の作方(戸壁) る 開

▲曠野の果(茨藤)▲母の秘密(三宝)

帰勝太郎のは

原史

(鉄六料

するので大

主婦之友」

の理論

表してくださいました。お寒に上達のな

くほごの方は見逃せの特別記事

四

須ら

療され上

慢点 胃 答兒

は實に治り難 て内壁には恐ろしき疵や爛れを生ぜるため 滋養物を食するも身に附かず身體衰弱 少しの酒や不消化物を食するも覿面下痢し痛み 肺尖肋膜に故障を生じ熱出で夜眠られず 腹膨りゴロノーブツー いつも下痢や軟便にて便には粘液膿汁を混じ 食慾進まず胸先落 元氣衰へ顔色悪く神經過敏にて短氣となり く見にぬが何しろ

[8]の機能がすつかり損 L 病氣で人目には へ嘔つきゲ 鳴り放屁多 ツプ く下腹痛み 左程大病 出で 發 新

藥良膓胃

止め痛みを鎮靜して病苦をよく快癒に導く。が更に 液の分泌を減じ弛緩を引締め蠕動亢進を制し下痢を アイフは胃腸病に最も適切の良薬で、主薬は病原 胃腸の機能を旺盛にし食慾を進め栄養の吸收を住食 である勝胃内壁の潰瘍面或は糜爛面に附着しそれら にし血色と體重を加へ元氣と健康を著しく増進する の患部を治療すると共に炎症を鎭め粘膜を強くし粘

三百四十億人 五十 餘 百六十億人 五 回

する割期的最新の胃病専門薬である して急性慢性の胃病を速に軽快に なる葉效の主力を病原治療に傾注 軍なる消化薬ではない。特有の適切

大便に血液膿汁を混じ胃癌胃潰瘍腸結核等の疑 用せられよ 三 原 入 二 十 個 四 日 分 七十五 個 十七 日分 三 國 和 分 七十五 網 十七 日分 三 國 和 十 世 日 分 七十五 網 十 世 日 分 五 二 四 十 五 銀 アイフ薬便

發

なる薬店に販賣す

ひある症状には是非ともアイフを服

賣 順

大阪市東區清水谷西之町

大 東京

雅新(宗)五〇〇0·五〇〇II·五〇〇三番 雅 粉 全 口 皮 大 原 三 四 五 番 新香末京大二二人人者 电新(小石川) 其O 1 O 地東 京 市 本 郷 區 奖 砂 町 九 香 地 被替火施三七六至香 军以七大大 施 宿 山、縣 选 一

長野縣下より移民を募集 ハ黒川の正體暴露

三名が希望に燃えつゝ渡滞、目前地の旋襲衛呂三剛窓に眺記してまって、もむしにで、ため、神真無垢な青年三十と、飛びつくやうな誇大の宣傳に乗って移民募集に應じた長野縣下の純眞無垢な青年三十級度に破綻した戯村の海路を殺めんさして道教を保熱に密されてぬる抗機、消穀液酸素を所又は大陸極民総督所の堂々たる層書 ったが一行中寺田正春君(三二)は移民里を代表し此窮狀を郷里に訴ふべく十八日出戦の秘密なで瞬間手に入らず、演禽もロクに興へられず一谷は晦然さしてひたすら悲愴の源にむせび、総にその中六名は情然と内地に逃げ歸三名が希望に燃えつゝ渡滞、目職地の旅職節四三國三年総数して見れば、事態は龍舵と呼て非なるインチャもので土地は三名が希望に燃えつゝ渡滞、目職地の旅職節四三國三年総報して見れば、事態は龍舵と呼て非なるインチャもので土地は 司法係でも今後の移民問題に支障を來す事件であると重大親

目指す農場とは? 鹽分過多の劣惡水田

里に歸られの二十餘名の移民團が 今井や野縣人會長驚いで語る

全國中等校野球 鰻のぼりの銀高で

649·183725 华横山楠中松深福加 本四田本田下瀬島薫

滿俱歡迎會

選手苦心を語る

各幹事並に質性大連

け

リコーは保治 偽智力はに傳 でいされいさ

村場をやる人家) や の樂

大要ださいふので簡地の翻線が その泉邊に保護を加へたこさは との話が飛んだ誤解を生んださ この話が飛んだ誤解を生んださ が書いてある。

大衆的で思ひ切り低廉な宿料親切で家族的なサービス新らしくて明るく凉しいお部屋 **興郁市への願用辨に、是非常本学**

水 長雄



佐藤選手敗る 全滿軟球庭球 九月四日舉行

『ボートマーノック十八日愛』だった英國飛行家モリソン版と紹版して 年前十一時中がアリン歌と紹版して 大英國飛行家モリソン版と紹版して 大子前十一時中がアリン歌外ボート に 大子前十一時中がアリン歌がボート に 大子前十一時中がアリン歌がボート に 大子前十一時中がアリン歌がボート

復飛行を決行 大西洋橫斷往

上つた

表彰謝恩會

球

ふ午後四時より

ばいかる丸假泊

實業球場で に大きな役割を続じてゐることだで同地を出ることがで、大連で銀が高くなり、大連銀高かる丸は世上大連で銀が高くなり、大連銀高かる丸は世上大連で銀が高くなり、大連銀高が多り、大連銀点が表が表が、

上寺やうやく航海の見込みたつたの 道に假海中のさころナ九日午前八 ではいかる鬼は震響のため長竹水 けふ港外着









エヤ

ンロ

發資元 辐永洋行

家に

__

個は備へたい



淋病消湯に宇留神湯

日本橋東局

李· 務 = 漁絲或礦巢、製林製碗業、不流崎油原油飯賣業、製糖業、製米漿、除工所、造船所、連絡或礦巢、製林製碗業、不流崎油原油飯賣業、製糖業、製米漿、除工所、造船所、 内地、朝鮮、運用三十餘ヶ所 三河町二十七番北 三河町二十七番北 三河町二十七番北 三河町二十七番北 電前 七五図の番 電前 七五図の番 電前 七五図の番

CAN THE CAN TH 品取主 な 目振る 株式會社林一東西占人連出張 鹽魚鮮魚冷凍魚罐詰各一般

ので昨今の季節には大へん窓ばれます……………………………………………だっての飲物は質に清爽美快で御暗人方。讀書の勢れお酒の後に頗るよい 界各 に砂糖を加く其上レモン皮の薄切一片を浮べて召レーモン紅茶●●・・ 图 酒類 (1) 食 00

4船と影壁の間に設つたがこれを 2のでテーブ渡しのローブを三本

ープの交換に幾多の不便があ

定期船とテープ

澤酒渍

が配記察に財人の定【新京電話】 一、六時ヤマトホテルに標料車職全機の大部間看版とだが二十日湯洲國製の大部間看版とだが二十日湯洲國製の大部間看版とだが二十日湯洲國製の大部間を開発を表現した。

船荷證卷正副各衛

公元條生二

日本各地名産

○立器で提供し、レモン皮三・一合五、ピター五漸答く

惡疾流行の時

オリヱンタル貿易商産

響秀龍、震漫の山郷を叩き、えも は今回の道路工事中間らずる総覧の大道で、瞬間に連なる帯 の丈夫が膨れる忠誠師あり、 新に土民の土地へ買上げて築造せ 也の畑中に日路戦の勇士高崎神宗屯から磊山屯に到る八千米突は らんさする手前や里、左一町時

旅大裏道路の名所

古色蒼然たる牧城子

土地を黒川が佐志某氏より管

金安の立役者

キングに

大連の銀相場

ずっしは保証している。

松山快勝

高の値を辿つてるたが しで二十四歩を割り

野田セメント

時に沿ふ渡沙子 あいであり食安 度を増する他に ** ント引落し てれが今朝 構別廉壽 ては「銀相当は馬鹿でなった後さも高いかさいふか 中林

枚金三国也を買つたさころ幸運

近、サテは保護送還の敗取りさの大会に本人ポーツさなつて歌 ら駅高質金三萬岡也を除て >

有護婦生

大連醫院附屬看護婦養成所願書締切、九月五日鮮網は左記に関係をよって 工徒募集

近に関心事は全三茂國也の始末

女神印ソーダ・ビスケット 赤崎 金二。六〇

氣御見舞に是非御家庭に必須のに、紅茶珈琲を召す時に、御病御子様の保健の爲めに御來客様

代理店

井上司令官

大連市芸術事業に参称して行っ 大連市芸術事業に参称して行っ

用御省內宮

皆樣への奉仕と品質改 日夜この一品に全力を の歴史です、 く努力して居ります ン以て御愛顧 に報ゆ

弊社の過去二十余年は 弊社は

野想多書 (381)

から見るさ人生逆域 から見るさ人生逆域 がから見るさ人生逆域 がある。

なければ贈る。

學

理と實際に基い

72

(N)

宿者(北)



宮內省御用達 會株社式

全の輸出解棄止かずれて膨飛していなことは高時政府監測の製べ といふことは高時政府監測の割へ はいなことは高時政府監測の割へ

家が議會に提出せらる

一致を以て表情院を通過する。民政院は実育にる政友の総長直接に表情にあるものなる。民政院は実育にる政友の

の日の生活に連ばれ今日まで確りの日の生活に連ばれ今日まで、一般の一般の全職な差引くさ殆ど

の智、何ならお相手に出るこ

我間の有名な難原務軍なほぼ在

時局匡救策檢討

東京支社

臨時議會の重大問題

武藤軍司令官送別宴

北軍の中心験力は原政権の手に移ったを強って北支の理験より見れば復西

北平軍人分會委員さして任命方な

支各軍事は重視の行動を執らんさ中央に要求し、場合によつては北

北平十八日登』北安五十七将領 北平十八日登』北安五十七将領

戦後類及び山西派の徐永昌等は加

の反感がに近一派の態度が何の反感がに対する五十七北支精領

を同じず北支における學良系の然

傾は今後の野菜を解論の結果師く

張作相等は

不參加

臨時議會日程

學良引留沙動に

標左の如し

學良の勢力一

廣東派は飽まで努力

北本山

夜時會介

一部に政府のよ

更に今後の謝策を決定す

外遊り逐に中止に傾く

つて褪まらなかつ

共同戦線

部 未 给 人行要 治代專本協 人輔題 塔 武 村 本 人副印 地畫一批问题公東市連大

へ間の抗議により近く村ののアメリカ人制をしているが

高等官十

判任官十二名

防能性しむる事でして同五時配合 を記録する必要があるさいふに一 を記録する必要があるさいふに一

時局匡救費財源

赤字公債の限度擴張

た■せらめんさする下場備である

民政幹部會

法相を訪問 濱田政友總務

六八·COO

命全權大使猶負被仰得 任大使精三等者記官

施政演說

あす決定

印刷般

油口社印刷所

が在カナダのアメリカ人軽繁工場 米品排斥抗議

調査團報告

條より成り二

百頁前後

我立場を無視

左の如し

内容な決定する等の内容な決定する等の

福のるため公債教行に関する法 常のるため公債教行に関する法 製条業法案

米穀霧川崎節特別會計法中改

珊洲における現在 珊洲事變の經過 を惜しつよる 事變前の日支 七、結論・大、調査圏の立場よりの事態・大、調査圏の立場より を惜しつ」ある結論 親する

は 日本の立場を全然無能くさ共に、支那なして日本の権 を変めしめるさいふ転であるさ が、気を意見

1

3

大定した、とかため瀬舎町は報告 常な標期ぶりである、なは顕維神 常な標期ぶりである、なは顕維神 常な標期ぶりである、なは顕維神 に関東たかけて昨今は非 では非 で整川だつたが、前宗教房長面での機務可提のため交教部を編制でいたが、前宗教房長面で組出交権のため交教部を編制では、

歸朝進上。 松井軍縮全權談

満洲問題と最近の壽府の空氣

「ハルピン特徴十八日数」

一般四時チ

の成行きなら仕方が

學一良の

下野

けさ急行で北行

林出賢次郎

袭 憲景

本、今度の上庭では別に は出まい、計価も を全から消滅は今後金はます/〜が 要だが、今度の上庭では別に を対して、一点 を対して、一点 を対して、一点 を対して、一点 を対して、一点 を対して、一点 を対して、一点 を対して、一点 をはいから今後の金素は果ました。 をはれが皆伸を元報がよって入って、 でにおい準中は試験を通って入って、 でいか、さにかく會社が強ってるる でった、能側阿舎いさいか、こ さに書いが皆伸を元報がよく小のにも を出たが皆伸を元報がよくなのにも を出たが皆伸を元報がよくなには でった、にはの金素は果まい。計価も でいか、さにかく會社が完って、 でに思る。 では、 に思る。 では、 にといった。 ににといった。 にといった。 にとい。 にとい。

サイトラフスやーを シェフスやーイア を表する

コーフ権弾

大学等技術

鵡

野してはアメリカ政府は深軍問題 近せんさするものさみられること 一部であるが有代表に 英米城園共同殿線を張り日本た際 電談するため九月代表をロンドン 訓令を襲へ、満洲問題につき観送 一部でするため九月代表をロンドン 訓令を襲へ、満洲問題につき観送 一部でを襲へ、満洲問題につき観送 一部でを して に関し 英米城園 共同 して という いちずこの ア・サン紙のワシントン特電によ に関し 英米城園 共同 しなった いちずこの ア・サン紙のワシントン特電によ に関し 英米國政府がアメリカの 立 同聴線を張り日本な歴。満洲問題につき觸逐 米澤 菊二

総物質な雕き 一衆のが針な質もた上最合によつて 十八日午後四 | 前法大蔵順大部の事物に難する版 大智は財物事 | 種々協議の結果、事他の能様総に

滿洲國承認

政友會議會で質問

文教部總務司長

西山政猪氏に内定

山氏》

冏村參謀副長

時総部會終了後職他の成役を軍大親

府案に嫌られ

資金の問題は心配に及ばぬ

林滿鐵總裁の意見

沿線の警備に

は最善の努力

理事詮衡方針

で質問に入る△衆議院は午後一 (2) 大学 (2) 大学 (3) 大学 (4) 大学 (4)

急進派勢力漸~擴大

東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京に一時から横線を で、東京に一時から横線を で、東京に一時から横線を で、東京に一時から横線を で、東京に一時から横線を で、東京に一時から横線を で、東京に一時から横線を で、東京に一時から横線を できる。東京に一時から横線を できる。東京に一時から横線を できる。東京に一時から横線を できる。東京に一時から横線を できる。東京に一時から横線を できる。東京に一方に

促進運動

坪井少將挨拶

職員保険特別會對線人 一八〇 電話等業地方分標金 三三三三 会議務業地方分標金 三三三三 会議務業地方分標金 三三三三 会議務議院等最料収入 三五 記の現行医院一億六千六十萬個 に家を提出する響である、なほ鯉 で記さることとなった。 ではよることとなった。 では、概義、業階、機太等各特別會 はの現行医院一億六千六十萬個 に家に指出する響である。なほ鯉 では、概義、業階、機太等各特別會 は、によることとなった。

日正午東京會館に幹部會と康範内 「東京十九日養」民政際では十八 「東京十九日養」民政際では十八 「東京十九日養」民政際では十八 「東京十九日養」民政際では十八 「東京十九日養」民政際では十八 「東京十九日養」民政際では十八 「東京十九日養」民政際では十八 「東京十九日養」民政際では十八 の歌ぶ、近ごろ大歌響。 事から満鎖紅紫の一般につい長髪集のうへ開かれたが先づ 《徽原次郎氏(同上高級副官) 外 《周村寧次氏(論・平沙將關東軍多 國上歸連 ▲異文中氏/東京地方裁判所判案)
午前八時大連聯署來連 - 一時半大連港外資の鎌定 二十日午前 滿鐵重役會議 野步兵大尉、歩兵第四聯除附、 日午後蘇大往復 個式(編 東京支加長) 一組曲(ハードラウト) コーラ 復興 オフィストーワルツ コー・ティール・フィル・ ウィール・フィル・ 保護 古代のメスエット(アスペース)

監験が實行し無ないこさである。 他のて壓村の重備数率さして政府

邪巣の

か

慰問袋

溝織家事講習所製作中の播磨町

現場監督遭

他も一入鍵かに、巻ちついた姿をして地飛行のほか歌時に舞踊り総 等まで幸遠者・全観れて黙くら砂な風さ共に窓道の景 三時より馬瓜取り、満瀬時を利用 者側は會場にできまり紙を探し、午後 日正午まで家・会観れて黙くら秘秋のカラーは肌 べ、午後二時より凝物郷と、午後 日正午まで家・会観れて黙くら初秋のカラーは肌 べ、午後二時より戦地郷と、午後 日正午まで家・会観れている。

提供したと辯解

檢擧された牛作州

| 共轭者戦名さ別側に駆動機さ連絡を終り影然二百餘振を窓輪とた支勢側布力者取べら近く物手から山東方廊の即城へ多歓の鏡巻を密輸又は供給とてゐたさいふ繋くべき縁事能が養養し 擴大な躁想されてゐる 撃し殿東東湖への結果、意外にも世代州の手から復州方面の馬手地特定部に仕譲支配人傳忠明(**)及び市内宏濃新四十書地元 法保古問刑事の一般は十 復州方面の馬賊

ハニ元公議會長

元嗣東軍司令官村間長太郎中将の

けふ奉天で

门歲氏拉致犯

顏!

けさ出勤の途中登見した

カ

惜しくも取り逃がす

追悼會

將の

傳は山東馬 山田銃砲店が密賣元

にも元小園子公園里長44~) であり山東駅販への賣機人が同仁 一般変配人傳忠明(エンであることが ・ 一般である。とかも馬販 にも元小園子公議會長中作州(町) のである、こかも馬賊のである、こかも馬賊 なし支那人間には根常信用もあるで突動名を書へて変者な性活 子公議會長年候州は司法衛

山田統献店の手長さなつて 山田統献店の手長さなつて 山田統献店の手長さなつて 山田統献店の手長さなつて

を続の手へ渡り頭に牛及び煙の手 の手にて常質され、熊脂か て聴識されてかり、職能な歌戦をに渡って名る關係まで財歌さなつたが、その歌歌に解分を年に戻っている。 がた脚葉しておしな。 大島頃を持つてゐる関係かれることものでなく自分は治 元さなり支配側裏

全滿鐵社員の要望

大がかりな連続呼ぎ目

あつたさころ、まる十五日金州に大きが遊ばしたとめ容易に複雑を新く中で遊ばしたとめ容易に複雑を新く中であれている。

の中間にあつて活躍せ

金州派の

社員會職都長作業慢夫氏は語る。 ・社員會職都長作業慢夫氏は語る。

谷は射器され織膜は全身に存機体

名望ある牛

長た郷の大正十二年経職し、油団大連署に邀権された特権が、海団

九七キロ附近で総路二本を取外

的解決に當地支

、ゐるのを費見十

長敦線で妨害

要整備子のわが鮮度漢

仁親安煕人優惠明(***)は自店の一変一それに記して山東へ総論してゐた山東忠賊に攀鈍を整賞してゐた周一克が一ケ月百隻内外入港するので

青年同志會學 奮起 一活動

ビ教授がまた新記録

- 二時間で一萬七千米

今や治療谷理難質真然の呼びこ ("是無療佐一郎によ)の職名は十七分税権の結構充質要求の聲。 総裁中の鈴木紙現場監督中谷隆一 軍警の増置を懇請

『デセンザノ十八日養』一萬七干さ云ふ前人米整の高空に昇つたヒッカール教授は許るかさも思っ今間は一萬七千米には確かに達した、成層側の寒さは全くやり切れぬ。一時は漢死するかさも思っ分割は一萬七千米には確かに達した。成層側の寒さは全くやり切れぬ。一時は漢死するかさも思っ今間は一萬七千と云ふ前人米整の高空に昇つたヒッカール教授は十八日午前五時五年、学者のディーペンドルフ教徒福出養以来職の高空に昇つたヒッカール教授は十八日午前五時五年、学者のディーペンドルフ教徒福出養以来職の高空に昇つたヒッカール教授は十八日午前五時五年、学者のディーストラーと、「大きに役立つだらう」

讀者を招待

の草花觀賞デ

幸運者調べと編券探しを

日曜日の小巫

記動る金州派の巨頭である、牛が を持ち支那側では人格者さして名 の発素 非常なショクを軽く十九一版版 連署に出職し宅下げ運動に奔走の公職會長を初め支那個有力者が ゐる【熟眞は牛】 一名 の結果上海天津等は民事で邦人和により大連商産航船以外へ服市京政府が影流洲國郵便計館、右は繁要注意事項で11 船内郵便の 利用者注意事項

上海からは日本切手に限る

山敷島町で北

の満洲人が通行して 正通り獣軍派出所に急報したので、 上通り獣軍派出所に急報したので、 上通り獣軍派出所に急報したのと 正通り獣軍派出所に急報したのと 正通り獣軍が大変に繋き附近の人が飛び出し大

新中京商業戦は午前十時より水上、「米信決勝年前の試合院本工策(允)

エイアン芳香油

便所

くさみ止

たが結局四人 数型で中京時つ

臭氣を止め。芳香を發す

蒙

京三同理想的 第三同理想的

(市内各書店にあり)

魔上三氏書祭のもさに開始の影響に生命十時より水上

逮捕さる 悦來棧主 ので大陸左の短く一般利用において現動で、一き大連常歌使物を利用者が減増すると像想、戦政局に現動でものであるが形局 るので注目されてゐるな影響便局は担止せんさしてゐるない。 開港地に香港する場合は一旦により大連向直航船以外途中

秋季競馬大會

沿

リ六日間秋季薫馬大會を行ふこと大連証馬低樂部では來る仕七日よ

合理的解決に迫らる

では、アート・ で

建新賣却集集一種

八月二十

=

 \Box

中間驛を守れ 大に大連航路の 大に大連航路の 大に大連航路の 大に大連航路の 大に大連航路の 大に大連航路の 定期船々車連絡 の大能脈を企識し配っては浦洲側の生誕さ

シップ連絡等を

の漢葉へのサー

けふ總裁が社員會の陳情から

直ちに重役會議

二章。編輯常

香四两〇二 高見支店長談

月申は十四回のうち八二五回連帖に間に合つた一回の入港を開い続きものは知ど有の人を 大阪激融協高見支店長は認る 解車連絡で云本のは果地行脈客 の時期を見越し一時間でも早く 目的地に行ける機にと實行した 事ですが實際のごころ利用者は 少い機なので今更何とかして傾 少い機なので今更何とかして傾 少ってあるこころなんです、定期 ので合理的に解決したいご思 つてあるこころなんです、定期 が関にしてもキットその方が成 事に都合が好いでせう。いづに 本社方面や瀟朧等さもよく相談 して合理的に解決したいご思ひ まず、冬になつたらごうぎへて も早朝入港に紙煙です

利用者少く

吉田、併殺=中京一、季技時本二番打=満田、併殺=中京一、季技時不 10月井浦田翔岡中 村信観村吉泉吉田林 17535

砂糖密輸檢學







4 田田

スノ

ロン製造元

228 904





九日栽放通り

人を教

田兴 市は 御ず々す奉

けふの小洋相場(正午)

干潮(午梅六時

械 技

女子和文タイピスト 高女卒以上出身及はこれに該書する経験深き者

滿洲機械商品陳列所

◆二十日より レコー ◆二十月二十一日……三牌 二編 (一貫年 四、一〇 一貫年 四、一〇 二、九〇 一貫年 四、九〇 1 =

******* 洲

1本 112 5本 245 946

五等 (二十段) 残全部

後拨

コ 滿 Z, ~ 書 背 器俱會樂 社部 越

キュービー

鴻葉公司

マヨネーズ

越三階ホー ロムビア統計レコ 日(土鎚)… ル = 一日(日難) 午後一 サ 辟 0

国題 の 大連マダム行城部の領 大 同 俱 樂 部 内 輪 話 大 同 俱 樂 部 内 輪 話 大 演奏まち情簡単。満洲世標をまる。 大連マダム行城部の領 の 大連マダム行城部の領 の 大連マダム行城部の領 其他演麟。カフエー、硬軟各種の體物澤山銀行、會耐、腐店、信用許判近默記日、米、蘇、軍備比較 (磨滌草聚表) ルドラッシュの黒龍江省 社論評蒙滿

非常な評判、 物凄い黄行を示して居ります。

中等校野球大會 中京勝つ

對熊本准決勝 百 全 間 編 療 院 主 日倉芝三郷

門勝病が

五名道像、陳映は市館方廊に逃走、線路その他の撮影は不明である受け同郊車に観報してあた工物堂、場覧十一名のうち九名控教された窓がいつたさき突如興戦の襲撃な、機関保護丁基に数名の興味養態了だいったさき突如興戦の襲撃ない。十八日午前七時是発線競技領域を

列車襲撃さ

る

場員を拉致

8

埠頭側の意見 か ょ

北線拉出數河間

H.

菊池寛氏は斯られ 雑誌キングだ」と

頁 その上トテモ値打のある 二百頁の單 『五十銭で買ひ得るものゝ中で、一番安いのは 九月號は 申されました

行本 がついて五十銭、破天荒の大意競振り、 本誌六百

大ながお求めた聞います。

鼲痛消炎

3?-45(0)

VZ

秀

優痛痛感

秀なる効果を收む 捻挫等に應用し 脂膜炎、腰痛、打撲

店商衛兵長田武設

店商裝野鹽談社會名會巴二(可能道照東市版大)

E 布 七

組削はまた、外の通りで、物に、蛇な喰を聞き込んで来た

會會期 費場日

() 一种日午後七時半 () 和 會 館 () 和 會 館

沙河口劇場基題替

五

百

滿水災義捐獨唱會

療治原病胃腸

製創士博村柏·醫侍省內宮前

XIHOS

殿低格價

(全國知

名楽店にあす)



HELP

(日曜土)

天織だが、恐らくこんな天然に類へ大の間つきだが、同室に優祖き、大の間つきだが、同室に優祖き、

報

日

朝鎌高便に買ひます 一角鎌高便に買ひます 物 市沙河口大正河四十三 唐 市沙河口大正河四十三 唐 あ



ヘルプ ぶ飛シケはルタカ胃腸

= 月 年 七 が情沈の御禮たらくて様せられ

洲

献げる其間の彼の心理な表紙され とい彼は献げ続に頼らて鳥さ花な とい彼は献げ続に頼らて鳥さ花な とい彼は献げ続に頼らて鳥さ花な

・配となくして合の

消费

荻野綾子女史の

獨唱會曲目解說

獨唱會の

本社治能大連滿麗社皇俱樂部滿麗 本社治能大連滿麗社皇俱樂部滿麗 本社治能大郷二十日夜 大時代から破和會館にて開際する 大時代から破和會館にて開際する 大時代でな紙讀者及び俱樂部演習 大郎 一園に優待動引するが、會員祭は一般一園五十銭でな紙讀者及び俱樂部演習 大郎 東京 一園に優待動引するが、會員祭は一般一個五十銭、學性 明朝から前曹

(コルペエル版)さの間に赤

類なし で通をよく で通をよく

消退し 迅速に

者は本紙職込みの食物が強気を持っているから歌 おたり、治を腹、食び過ぎ、 腹端

食傷、水あたり、時候 消化不良要からなる

(可思療便動理三期)

CURIOU! Shop

쨏

日月

生

長恨の家(五)

御旅行用具の御用は 堅牢第一 體裁優美を誇りとする浪華洋行の特遷旅行鞄と米 國製ウオードローブトランクは御旅行をヨリ簡單にヨリ愉快

> 布……至 8.50より 英國製 アツシュ ステッキ 新着 自然木で飾り氣のない極くあつさりした英 開製のアッシュのステッキは何方様にも喜 ばれます 辛 1.50より ばれます 作研製 ハンドパツグ 新着

ならしめます ごうぞ御旅行用具は……

トラング……等 98.00より

歴 根……乎 8.5 0より ₩----¥ 5.90より

瞬期にして高騰な型 和洋装さらに調和よ ミフランス製のハンドパッグが多数品前ひ いたしました

大 浪



前 病

芳太郎殿 治療專門 (岩車民政署前にて下車)舊滿洲日場 所 山縣通三十 道津 取 主 任 電話ニニ六〇一番 道 縣通三十 史 報裏通 六番地

t

初 期多髓炎氣炎炎般弱風又切

· 根松本學氏 狀態 多狀

で、きつと御滿足なされる事と信じます。 で、本常の灸點は十人が十人、一人一人ちがの条がは病人それだ~の體質、それだ~の症での灸の効果は實に驚く程です。 で、一人一人達ふ灸のツボを絶對正確にあらは、 本常の灸點は十人が十人、一人一人ちがいる誰にも同じ寸法でやつても決して効かない。 本常の灸點は十人が十人、一人一人ちがいる難にも同じ寸法でやつても決して効かない。 にます。一度御試し下さ 症状にして効 2 でよ

ま左こつ此あな昔せ記のてのるいか

清水芳太郎先生發明

連**商議建議文**(E)

マイズ介ですりドナ ものでマクドナ ものでマクドナ

紐育株式强調

(分割商水至ニボイント 株式市場は小殿二側宮

一大四次

首相乘

乘出すか

京会 産地は銀八分の九安さ近落これ

も昇騰

国

山田商店株式部

行がり

大豆暴で

海本田山時外取御風武株。

總會所

市

況中九じ

信記會所では構場の控制者だ

少の支職を認んでも強金利下を賦行すべきださいふに一致したさ傳へられてゐるから特殊命利下問題に就き意見突巍の結果政府、=鰕陽監局の金融緩和方針で支援するたされるもの主観らる、即ち池田三井、阜田三岌、八代住友の三世頭は十六日の日銀巻男子・ノーリー・

近日中斷行されん

般銀行預金利下

● なってあるが高い酸品をおしつこさであるが高い酸品をおしつこさであるが高い酸品をおしつこさであるが高い酸品をおしつ

なる歌であっ

關稅改正建議

りふ發送す

大連商議文案を脱稿

は提品に對して輸入税を課する 付は需素の選挙により原料文 合は信業者の選挙により原料文

對日本貿易

職記機會なども目前 中の質型はある 動パーの質型はある 動パーの質型はある 動パーの質型はある 動パーの質型はある が下のは何さいつ が下こも一時的のも はれぬ根柢を有つて はれぬ根柢を有つて はれぬ根柢を有って はれぬ根柢を有って

R

的

空

全主 五十国就 が一番でするに足ら り奇さするに足ら り奇さするに足ら り奇さするに足ら で表でを高さたの

三十八同

四十九面九十錢

報報 新和 報報 一工車 一工車 一工車 一工車 一工車

錢十二 下階 開公日八十●

の厳密中岡片

鐵

株(保合)

◆…空前の低金利時代が担出さる 施なみるらとい。

廿三弗臺割れ懸念

七月の關東州貿易

輸出入さもに著增

綿製品の輸入目立つ輸出約一割、輸入十四割の増加

|四一千圓域、そ | 物一分説を大々説情して上千圓の著演を | 物一分説を大々説情してあるか | 於て六朝九分、徳三島語

麥

紀に買った

黄

爲替ける

ふまたり暴落

「戦に依然さらて目を総替安た見画とて強人領が得ばれてゐる 「戦に依然さらて目を総替安た見画とて強人領が得ばれてゐる」 「戦に依然さらて目を総替安た見画とて強人領が得ばれてゐる」 「戦に依然さらて目を総替安た見画とて強人領が得ばれてゐる。これまた新記録を選つた。 「戦に依然さらて目を総替安た見画とて強人領が得ばれてゐる

每月十萬枚突破

新穀出廻期の活況期待

新

大阪棉花 等付 大引

當米隆落

猛騰

海爲替情報 7-5-0

间; きさぬはる 查課 報日

大連市磐城町八九(西通路角) 一第用信

七一八兩五七一八兩五

上海標金

●定期前場。単位於) ◆定期前場。単位於) 一等付高值安值大引 第60%の先翌10%。

民花 草月 料 場 入

テルセ

銭十二券ムーリクスイア

月月前一節前二月 4353 43

神戸期米 前場等前場引 三次 三型

新速 先至 10%0 先翌 10%2 新速 先至 10%0 先翌 10%2 ◆現物前場(単位後) ・現物前場(単位後) ・銀野金 銀野岸 金野洋 十一時 11%80

圖金 手

量奏 形 教教**交**

一、大口、宝宝

銀(金額定)

ール八分五高(四一第八分の三) ール八分五高(四一第八分の三) スチール八分五高(四一第八分の三)

米棉依然上伸

□ 今朝級價は首三圏元 市の延騰を入れたので各品共 一溜りもなく下押し本殊に大 一溜りもなく下押し本殊に大 一溜りもなく下押し本殊に大 一溜りもなく下押し本殊に大 一溜りもなく下押し本 落を辿った人。他品も大豆 高は火連製のに出たので忍 落で細一四級方至四銭方の 高は火連製のに出たので忍 が雪如何に拘らず出種期より は本格的に輸出をは相當盛人なよ に油調が恢復せざるし邦商大豆は に油調が恢復せざる限り北湖 にあらず出種期より であらり、現 であらり、現

は成育不良機能プールの成立期 場は成育不良機能プールの成立期

引中寄引寄引寄制。期· 二二 期· 二二 程位十段) 二二 10 人 展

(金製商) (15) | 志配件0分の (金製商) (15) | 志配件0分の (金製商) (15) | 志配件0分の (金製商) (15) | 志配件0分の (金製商) (15) | 志配付の (15) | 表面 (15)

ーパーク・ーリーゲ 御期待久しき名書 新赤ットフロクン

集 夢 ルーガスピーサ いる下談來海洋局者護保

漢篇・ 門傷 太元川市 三龍井武子智美江大 八鳥 リ 渡 夜 第監 (務宗軍・版ドンウサルーマ 漢主 工副岡・町二夕城・子里達伊 漢東子瀬岡花・治峡本押・亨津新 銭十五上階 銭十四下階 関ラトーマス・記以行原 須東ルブ

高映の日今

今晩の

しものは

(金曜日)

一良の下野を喜ばぬ

た北支時局

0

清徽衛生課より防疫撮影の報

る様は學良自身を犧牲にして自分は早間半平八日費」學展系五十七時頭の通常は既に至和

と物質の通常は既に平和的解決に達した?

老獪なる汪精衛の態度

安が爆發

通り活動しついある汪精衛の老獪なる態度に對し各將領は憤

中央常務委員及以中央軍事會

にご稱してゐるが最高に

を受ける 各將領の不安が右の如き形で 爆

学良の下 然ごし

國民同

盟總會

来政族院及び致、民願派に譲奪に、検渉、高禄蘇継の家の内容談明あ

の原脈を塗げるものさ期待して

議會々期延長か

七年度追加豫算案

兩院各代表口內示

政府、時局對策を說明



日満の緊密な提携で **兩國民の福利を増進** きのふ新京記者團と會見し

傅儀執政國是や語 されに歌し執政は左の知き挟術な

本日は常地にある新聞記者喇司本日は常地にある新聞記者がに対流洲圏は日満場の駅舎な提携に 未議院決議さ出論

新要なる時局難策のためだから 含れ、これは改反會が臨時職會は

一十月以上にさいふ要求を

加藤政之助氏 ※年度以後

政府、對議會策を協議

萬難を排して突き進大義貫徹のためには

(高真に海儀執政)

| 東京十九日 | 東京十日 | 東京日 | 東京 め二十日の間談で決定するが豪藤

職議で臨時職會に提出すべきた記 首相の激説は時屋 関東京十九日参 政府は十九日の め二十日の閣議で

救需給特別會司法中改正法

る。「東京十九日養】十八日の未職に 「大田田」前根の施政方針で 「大田田」に行ふに決定、 「大田田」に入るといる。 「大田田」に入田田」に入るといる。 「大田田」に入るといる。 「大田田」に入るといる。 「大田田」に入田田」に入るといる。 「大田田」に入田田」に入るといる。 「大田田」に入るといる。 「大田田」に入るといる。 「大田田」に入田田」に入田田 「大田田」に入田田 「大田田」に入田田」に入田田 「大田田」に入田田」に入田田 「大田田」に入田田」に入田 「大田田」に入田田」に入田 「大田田」に入田田」に入田 「大田田」に入田田」に入田田 「大田田」に入田田」に入田田 「大田田」に入田田」に入田田 「大田田」に入田田」に入田田 「大田田」に入田田」に入田田 「大田田」 「大田田」に入田田」に入田田 「大田田」に入田田」に入田田 「大田田」に入田田」に入田田 「大田田」 「大田」 「大 政友の政府案反對で

内示會は十九日午後一院十五分首の内示會は十九日午後一院十五分首の内示會は十九日年後一院十五分首の外の時間医療院各派代表に

豫算案內示會

きのふの臨時議會で で月で點いが 一年後二時終了的會した 水年度以後 ル 本年度以後 ・ 本年度といるのでは、 本年度には、 本年度をいるのでは、 る師であ 加砂氏、満洲海延費は幾何いる積 リカナ 六億の中には満洲事更費

は事毎に政友會が帰れた歴史に出ているというないのなく決定したしのだから介護會

【東京十九日散】議會開會切迫に 政府、各派の

貴族院自重論に傾く

ろま

であいが各派の意識大機 大量化せんさする際養族 大量化せんさする際養族

物を聽く會

小泉氏より

兩院の各派勢力 名、合訂四百六十二、國民問題三十 十餘名は十八日午前十一時之公衙、東京十八日教」政攻會の極原、 事間歴に関する私見の開陳、最後 八日午前十一時迄公園

內閣倒壞決議

民政黨の指導精神 幾式の智で其の明細左の通りであ 十年上野線網五十餘萬圖、本年内 野常舎蘇家市外四十一億所二百七 天天智内軍が派出所和後令七様行天君智内軍が派出所和後令七様行 方法にて際決、過程来土木縣の監が法にて際決、過程率、土木縣の監 際人に今般新築さるべき豪屋は春間にて正事を急がせつとあるが今 、新設三署々長帝

政府支持に決す

をアペート四戸住八棟三十二戸の をアペート四戸住八棟三十二戸の をアペート四戸住八棟三十二戸の をアペート四戸住八棟三十二戸の 一部家屯各一棟一戸) 東一百十三棟二十六戸、双画子一 株一戸、黒上店一棟四戸) 株一戸、黒上店一棟四戸) 株一戸、黒上店一棟四戸) は満男管内二棟二十戸(環際ア て極立せるし工事等 花家也、藤家也、雞鹿山は器 滿州國側を機關首脳者約五十名は

臧省長惜別宴

一、農林、中小朝工業順保元利支一、農村振順内部、土木都長青銀石名泉級製一、農村振順内部、土木都長青銀石名泉級製一、農村振 全國內務、土木部長會議

救農案施行指示

大学に居るが一部では、概念に政策を決定明職な態度で活った。 成さなつてゐる 同盟では来る二十二丸の内事務所でかるとは、成立なつてゐるが同民とな悪の政策は大 民法制の態點さなつてゐるが同民となどと居るが一部では、概念に政策を決定明職な態度で活った。 大学は伝統小男を製造な方面の態度 とい何でもる動命などものやや国 を難といってに出めてなる。政友會は十八日を取べい、食に出版する。 「東京十九日教」政府は臨時議会 「東京十九日教」」「東京十九日、「東京

豫算内示ご

政友會の態度

1 年中野及び橋本樹垣駅の料、恒吉 東の繁帆船を全部接続して盛大な 大空新手の佐小松椒倉住友三大場 を発音送別会を備す事さなつた街

集代理 録玉 置合名 物域 大日本雄辯會講談社

「イノール」薬價

日本は完全に敗北する そりし 野 3

なく政府が誠意を接遷されば騒念するになら程度ので

を決し歌響會戦に吹き撤壊する第

議場內外

準備成る

れないと傾めて大陸な所見な述べ は日米画画が正面画実を想象すめる如き方向に向けられる事は 米国外交政策が米国を孤立せら トインビー氏の夢物語

時大長さ狭脈自動車を運れて二下 早期陸軍省に乗合、荒木陸樹、道 開東軍参議長以下の一行は二十十

近邦九時登無城にて離京同

【東京十九日發】 吹膝全權、小路

けふ東京出發

武藤全權一行

開かれるのは鎌倉隊舎以来のレコ八日間、一年に三度も臨時議會が

領事査證制度は

日より實施

日本品に過渡的辦法

陳情の際く世間小気の

を首名宛の宝像な雁人に訳―動 歌會のあつた十八日に貴衆専院 折榜多能な使用 る三段権へは

ある、電展高季器でも私服刑事約百名な験 して左右 一国、近の策勝密域に翻らし 一国、近の策勝密域に翻らし 照響官三百名な選抜し英院電院の客響から素創道の牌つ節の強い制を響から素創道の牌つ節の強い制

の活動を始めた、議會内部では夏 水柱三百か議場は勿論傍聴帯へ

取頭 田

危機を脱す

地國の政情

田口勝太先生創製

最新胃腸藥

F博士 · 暢如診療所是

第の署名をさり目上在京議員大名の署名を得た

では野の製名を求めてゐるが既に六十餘日散節の一内骸餓餓の決議ななら昨日都録到

滿鐵沿線守備の 警官宿泊所建設

O『イノール』は常養やデャスターゼの様な臨純な野ではいいよのものはないと表はれてある一時観光と激つて、融合されてある。要、並なものは現代のからを模様から支大にします。

ら丈夫にする理想的最良樂です。胃腸病を癒し、其の上胃腸を根本

ノール」には「過酸化マグネシャ」も調合されてあり「動

警察協會の手で設計

は、 ないでは、 ないで

では、 胃臓内の者を消し物腫を取しまします。 胃臓内の者を消し物腫を取します。 し胃臓のはたらきを捉くし、促って液化作用を握くし、動気機性酸中と水無機能差養素の作用で液化液の分割をよく湯多を助ぎ、その上いろ/一の緩緩や緊緊緩を脱します。 配会性の美養を 滅その他の消化液の分泌に強くべき 調けて登集させる大なる物能を表します。 決議」が一時的の消化率でなく。胃腸としてのはたら含 ル」も胃の中で食物の際語するのを助ぎ、食蔵を

作用ある『ホルモン

適應症

出口博士曰く

疫痢、コレラ、赤痢

流行の時季に於ては

リアへ終する百五十萬碗の画際職 リアへ終する百五十萬碗の画際職

東豊縣城の賊

社

說

河村大佐着任 があつた『奉天電話』

矢代教授渡米

麻袋聢り

綿糸續騰

家人 相相

富留:

◆現物後場《單位話

◆定期後場(單位十經)

一時半 10500

出來高(銀對洋一萬四千面

H

入院の應需

36

東京・諸田におきに申込金製団

りかれない解ち人間を

市

三三五二

近藤

養一 脈治

內地株弱保合

關係要路口 警備力充實を要請へて

滿鐵社員會役員會

ででまなし、なら十六日午後一時 電邦人は既に他に引揚げてぬたの 電邦人は既に他に引揚げてぬたの

歸順した兵匪

支里の地壁へ撃ਆせる公安隊を整一人より魔法をうけるのであるからで、後まなし、なほ十六日午後一時一子供美四十六名を河原に引出し、続きれ起って後まなし、なほ十六日午後一時一子供美四十六名を河原に引出し、続きれ起いが、は十七日で 最も有効適切なる 融通低資貸付方法

裁兵

ニッ子まで 惨殺さる 大孤山鮮農の話

刀やごろ完成の見込でわりないに一张を準備に目下海備中

阿東麗遠信副幕務宗大鄭便局長

開東歐遺信副第移官

鈔票狂騰

關東廳關係方面の意嚮

旅大間をつなぐ

九月一日裏道路開通と共に

開洋鹿醫農業南洋農康務官

洪水のまゝ結氷せば?

竹さ他ひ歩と 理から知れの

惨澹たり!水禍のハルビン

何より心配

こめる所な

文 麻には七千餘のかれば七千餘の

はされ 文 原には七千餘の避難氏です。 な 本職を使いてごろ () 原には七千餘の避難氏である、大成敷を結め各便殿に祖来がある、大成敷を結め各便殿に祖来がある。 大成敷を結め各便殿に祖来がある。 大成敷を結め各便殿に祖来がある。 大成敷を結め各便殿に祖来がある。 大成敷を結め各便殿に祖来がある。 大成敷を結める後になった。

に金かやるか

國産ダンロップ

に限る

社論 評 洲溝

田

大連ナニワ町(イワキ町の角) センボウビルデイング五階 運命鑑定 所斷易連大 **第二七一五活理**

新古自動車の資買は 身の上の事親切に判斷す 馬

同本書当へ

大学大阪(五六二九番 機能北10四五番 が完 所 完 所

本書は株式賣買の入門から市場野本書は株式賣買の入門から市場野

雅五

大

神戸ダンロツブ護護極東株式會社 病洲代理店

賛成ともいはぬ 大連新市制案と永井拓相

不賛成とも

大変道路(旅周)

流言と自省

貴志英夫 小泉吉雄 橋 小山貞知

國政治思想史」第一冊 彼は何處へ往く今心征 一 M

一部十錢

滿電當局で運轉開始

梶

小兒科醫院

二萬枚 二八〇 二〇

第三卷第八號 八月二十日發行

越後町岩狹町角電六七五〇

よつては「赤ん坊

てた。 一子供の健康や姿勢にも大学館であり、アーナリアはよんにさつて著いばかりで

にも躾け水第

獨り眠りや獨り遊びの習慣

是非おつけなさい

その中に遊ばせるもよいで

度心地のよいやうにすべての「

へてやつてカ

母親

手をとるも

歩くのはすいかといっていている春んかった一時間も二時間も二時間も二時間も一時間も二時間も一時間も一時間も一時間も一時間も一時間も一時間となっていていまいます。れ

分大陸です。でか

代の女性」を態度して、

(14) 凶太

え、態概

なばさんがれ、いゝやうにかくしなですから、早く中におはいり、

物が一ま、うちにもこちらにもっかとンではな関めました。中は演

「大丈夫と」をばさんは平然な網「大丈夫と」をはさん、大丈夫?」

ち岩屋にはいりる

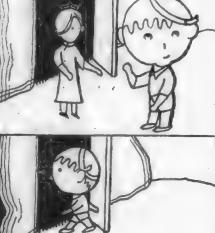
んは、たばさんのあさか

三大郎さんは何だか領味が難くな

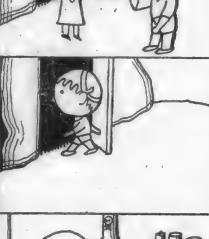


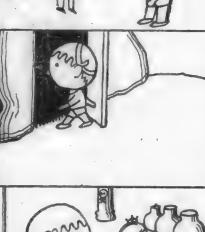


















醫療所博士

式のちがふ日本の家庭では多少工」と変になります。延等機

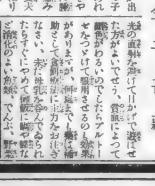
多数がいついて来たが見にり業職になるかわかりません

派手な 歌舞がなかつたら



そしてアイロンの熱が形 解験の毛に全部

た。 ・ あでもの親が出来てそのために歴 ば中耳炭や、難にくさやおできや



英文學者

平田禿木先生

小說家

字野浩二先生

あつて左の方が存よりに手で傾れて見るさが 食餌療法に主力を 栗は何處迄も補助とし

式會社社長,

片倉兼太郎氏

タボを用ひずに御自身で

逆毛を立てずアイロン毛

五分間にて

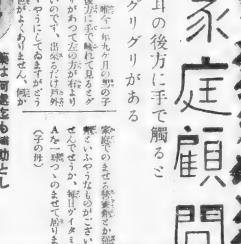
御髪あげの

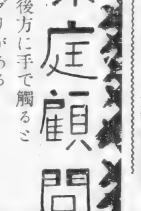
賃演を催して居ります如

出來る



Aを一環つゝのませて貼ります せんでせうか、毎日ヴィタミン 解さいふやうなものがございま





がもの顔に語らうさしてぬます めて、夏を一蹴し秋をわ 値既に比べて一制安で手に入りま ので驚寶側さん感つてこの者のお 気替の關係上高い智な

ろの言葉で

と保健の雨方面を兼ねた絶對に安全な健康法と思ふ。私は絶對健康法を他の何よりも最初に推奬する。實に治療現代の要求に叶ふ正しい學理的な健康增進の方法として

八月十八日より

向

間

東京本舗より出

張

人造的貢献である。正に健康増進の新福音で絕對健康法は醫學の上に大きなエポツクを

ある。

評論家

高須芳次郎先生

醫學博士

岡田道

一先生

絣全盛で 色は澁く濃色

しい足跡を、大地に黒さ

秋立つて、この頃の朝夕はますが今年の満行はごんな色調になる。ことをまして秋な悲はせるに光のでを明には温かい毛布が懸しく感ざられます、寒は気性の天下さいがたりでもいいたい位市中の実服屋さんでもいがたい位市中の実服屋さんでもいがたい位市中の実服屋さんでもいがたい位市中の実服屋さんでものがは全く験なでもいがたい位市中の実服屋さんでものがは全く験なでもいがたい位市中の実服屋さんでものがあるのではうかいた。

を記していていているのは、 を記しているの様が今秋は全盛です。

つては此上もない力强い味方を得た氣である。生の方法といふことが出來やうと思ふ。自分な生の方法といふことが出來やうと思ふ。自分な

る。自分たち老人にと た最も合理的な不老長

金子元臣先生

はこの科學性を信ずるが故にさもあるべきだと思ふ。心臓病等の全快した極めて多くの實例を聞いてゐるが、私絕對健康法によつて著しく減少した。肺結核、脚氣衝心、和は仕事の性質上頭を使ふ上に規則的な生活が困難なた

今秋服装 祭を支配して

お値段は春に比べ 一割ぐらゐお安い

文學博士

上田萬年先生

三河町(西広場が)

電話八二五番

無代頒布買の美本進星 経對健康法を始めてから確に氣分が爽快だ女學校長 岸邊福 ハガキにて申込まれたし

人々の健康法としては真に絶好のものである。効果の著しいものは貰つて經驗しない。殊に老年期にある私は今まで長い間いろく~試みた健康法のうち斯の如く やがて若返りの一端を露出したるものと解し得らるべし。 外に快感を以つて日常の業務に張粹し得ることは、是が常に懸念せる腦盗血の憂より遠かり得べきを推知し得べ解通の良好、消化機能の良好に基く身體各部の好響は予 陸軍少將 山川 見 三階下 で机に向へるのである。時間の睡眠ですつかり神氣回復して翌朝はもう非常な元氣時間の睡眠ですつかり神氣回復して翌朝はもう非常な元氣 名明記、 に對し僕は絕對健康法に滿腔の威謝をさ「疲れを知らなくなったこと」「根氣の 東京神田今川小路

を覺えなくなつたのは不思議なく長い間机に向つて仕事しても今 僕は實験上かく公言して憚らない「絕對」といつてもさしつかへな 露文學者 つかへない程度で元氣をつける。 しても今迄の らわである 夢先生

福雄先生

詳細を知らんとする 人は新聞

の美を保つことが出來る最も理想的な方法である。經衰弱や婦人疾患から全く安全に身を護つて真の健康と眞對健康法は若い婦人にとりて最も大敵である結核諸症や神真の美とは真の健康といふことに外ならないのである。絶

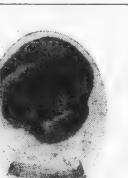
評論家

山

田わ

か先生





新案特許洋髪みの只一品

にて毛のなき方少さ方多

くてお困りの方も

知の

かねて婦人雑誌にて御承

早い。私は兒童衞生の立場から一般父兄の方々に推薦した且つ實験的調査の結果副作用なく効果の現はるる事は頗る私は小學兒童に試みてみたが其の効果は頗る顯著である

洋髮御婦人 方の福音

何にお髪を損めず美しく 止まるかを御覧下さい



中

電話五四〇九

場

所

浪 速

輸送に成功

匪賊の襲撃に遭遇これを撃退

北滿軍除への糧秣

人湖の眞只中に

株る廿五日午後

了四町本南區東歐人

マ教養

荻野綾子

女史

古本の野州は

牛乳

牛乳

カラー知り

ミシン高度でます。シン店機構河島モシン店機構河島モシン店機構河島モシン店

實印

一木洋行電話二二四六十修理、後換一切責任保護

奉天の獨

天帆

紙は出印に限る

・ **萬年** 筆弟修練専門大山通途 大連萬年職樹院 電ごご〇二 大連萬年職樹院

は此中に限る

算盤の御用は

水に泣く罹災民

黒龍江省内の惨狀

三町寺實人前區東歐大 店 村 稻 七二場級 哲 電 本一大人一人區大春報

突破したるし我れに提

川村軍曹射殺の

殊勳の平田廿九聯隊長

少將に昇進、廿三日金懌へ赴任

一年をも数戦で困してだのは 「一大師の 吸醐さチ、ハルバルピンの攻撃でありました。 これだけは忘れる事が出来ません。こうした私の責任を売了することが出来たのは私ばかりで ることが出来たのは私ばかりであることが出来ません。

撲けふ終

3

旅順少年

夜相

貨室

货室

本書 諸病家ハリ炎事門疾院 漢速町二〇一戦車が智所西

女間 第一丁目四三八電九 第二丁目四三八電九

草津

大連西公園町電話六五三大連西公園町電話六五三

常見本市

大連沙河口大正流八五三共衛 本病 薬・大學ミッテルの世

クサ

ないとはするとは、 ないとは、 ないでは、 はいでは、 はいで

フロシキ層

自了三m本版大 店**商枝三**

ホネ

モミ 原治お望みの方は

鈴木丈太郎 ・ 乾四六九二番 大連市二集町六〇

便衣隊員を逮捕

あす四平街で擧行する

第六

東方二支里大溶溝に集金に赴いむ)は十六日正午城東撫線李石七)は十六日正午城東撫線李石

危險との上なき

上流にコレラ續出す

交戦實に六時間

遂に賊團を擊退

南臺で大石橋署員

| 「赤に腫賊護撃し同人外一 | 繋が受け家人は全部控表されたはまる十二日岫崩縣居住部 | 続されたが他の邦人二戸も同様でなる方面よりの情報 | 名は行方不明さなり家族は全部

匪賊に銃殺さる

一部は全部拉去さる

安東のコレラ

【安東】戦性コレラいよ~~戦出 では来る二十一日有後三時カリンででは、100mmのでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは来る二十一日有後三時カリンでは来る二十一日有後三時カリンでは来る二十一日有後三時カリンでは来る二十一日有後三時カリンでは来る二十一日有後三時カリンでは、100mmでは、100m その後も續出

旅順の花競馬

洮昻線の 連絡

大家 山縣道一二五五四十十二八八五四 (中国) 「東京 (中国) 「東京

日野

時前(木村屋際)

京新八二〇三

着 料 ・ 院

金融

では、 (アテハル) 北海米音有の水雪に入より南海さの連絡一切断たれ物質とでは、 (アテハル) 北海米音有の水雪に

では、 一般指導 三河町 三般指導 三河町 三河町 三河町 三河町

投資を記載回これでは、大連を記載回これでは、大連を記載回これでは、

帝 一つ阿辻北入電大〇二三東陽衛會 一つ阿辻北入電大〇二三東陽衛會 小切 手約手割引郵便貯金通帳 排出建源買入者採町交番 原 小切 手約手割引手帳

家政婦

一日泊込一脚より

公定

女中

W. 10

乳兒

健康な母乳行方に預け

被雇

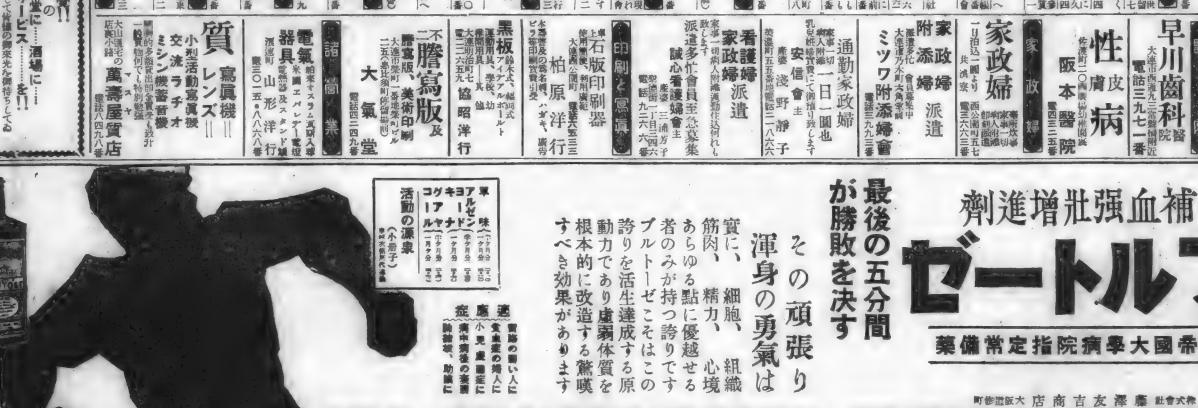
不動 施に極低利敏速金融個世 方町五ノー七河野電ニニ五八四 方町五ノー七河野電ニニ五八四 大町五ノー七河野電ニニ五八四 大町二

貸衣

不用。根切法

古着・お道具高質買入

早川とは科院大連市西流九三常盤傾附近大連市西流九三常盤傾附近 石井家畜病院



避難鮮人の 子弟を教育

監督拉去さる

金三拾銭増

古着 女太

来人 世五記は「四十章は五年年年に限る給料其地画談事業新四丁目九七年

1. まま、1 に戦怒天振順間の乗合自 戦争を終地数については清州自航 を大工・戦争中であったが今匹を

製鐵所守衛を

動車許可願ひ 奉撫問乘合自

日火の出るやうな練習を

防疫に大馬力

び日本順は十六日ダ豚ロより着任 満洲熊藤瀬警院長澤氏な戦戦勢で 東京に防疫事務所を翻訳し では防疫事務所を翻訳し

· 長禄▲十國憲長贈

八日より

選手遠征

と事態院から大量さなつてゐる。 十八日は東正忠者一名楽録新者二の 名夢に動職魔機所任者十餘名さ復

【事天】州外秋式底球、大倉は廿一

州外軟式庭球

虎疫依然蔓延

水島、有川、梅田、林▲百米肯」
水島、有川、梅田、林▲百米市家、水島、大百米龍冰北瀬、田家、川、南四百米田家、北瀬、田家、水島、大百米龍冰北瀬、田家、水島、大百米市、水島、有川、梅田、林▲百米市、水島、

集團作業

大石橋保線區

石

のほか振動、本変術、総山等多数の音響

軍警に對して 酒肴料贈呈

文) 捕手演并(大鹿) 一花山(長文) 捕手演并(大鹿) 一花山(長文) 捕手演并(大鹿) 一花山(長本) 二最木場、佐藤交代、遊擊內無(大鹿) 左一永倉(元賞崇)中(主称)池田(工大)右一小林(元貴崇) 補缺菊地、阿部、矢吹、水閒、濱田

任本風参列したが非常な艦儀であった。

浦水上競技選手概大會に将田監督・連運動揚ブールに然て駆行する全

か開催するさ

5年の下に左記の如く選手が参加

速陽體育職盟水上都では廿八日

大會に出場

保種を製ではパークシ

水上選手權

奉天實業野球

かな復行することとなった

遼

(事大) 事天党業野球隊に関して

り平光響部の挨拶、各代表者の機能強式が強まれ機能の調料に始ま

慰安尺八演奏

事に着手と十月中転變成の像定で鍛される事ごなり九月上旬から下

林地委議長赴連

各割で多大の期待を持たれて出来上つたので近く試合を開

さて安東に際で動行された、節芸 を楽は十八日午後一時より饗瀬さ で、大本郷は十八日午後一時より饗瀬さ

る假葬には浦洲側各代表

團の編成

日

山崎巡查假葬

現立: ・ はさして ・ を ・ では に が に に

渡邊副官後任着任

三列車にて來公就任した

【集画】西安郵便局は客川未來局

事務復活 西安郵便局

民は楽る二十日午後六時中から除公司を開催する會員

一般の出述へな受けた、向在旅館後二時十分養殖軍にて帰旅官民

にて連帯を排び輪郭する常

三郎服氏は二十日出航うすりい丸でした、脚に衝突酸山低峰間久秒でした。脚に衝突酸山低峰間久秒

像定なりとが列車故障のため同日 養明少將は十八日午前九時帰族の 大歩兵第三十職隊長均平

り署長を終て功労敵車

坪井少將着旅

受験直後職合結人會を組織し會は今回離公することになり昨秋事

からかさ見られてゐるが關係者

に七十三野五十九で育成大勝した

蘇家屯機關庫

芸らず郷く戦火した。

祭粢料傳達

操業關始 十月一日から 水道なく辛じて鎮火

へ 機能に 歴任して るた市 服装 なり十八日二十二弾車で 衆族同僚 日なり十八日二十二弾車で 衆族同僚 日なり十八日二十二弾車で 衆族同僚 日本部した

なる防衛を行ふこさゝなつた

电速县本線远長六軒營口本線 生下線巡長三〇粁

尺八慰問演奏

附屬地防備ご 避難民保護

第六集團丁揚 城邊 ―― 禁日本線 送美一二、三五五村

故森喜代 の葬儀執行

氏

ないので離火水なく境内脈水を場 分域突如前記工事場より は見る/\中に側骨プリ は見る/\中に側骨プリ

電の注意を製してもらりではです。 を選び、製に最近西方及び南、北より、縦を繋がたる日本力行會演奏表示。 は、製造を繋がするもの五子が夢え市内、脱穀野代一氏は大種樹樹院に放て、大砂・製に最近西方及び南、北より、縦を繋がたる日本力行會演奏表示。 は、製造を繋がするもの五子が夢え市内、脱穀野代一氏は大種樹樹院に放て、大砂・製に最近西方及び南、北より、縦を繋がたる日本力行會演奏表示。

時より食診室に脱て時局委員會の 一般原地の防御に関する打合せた権心 の、更に最近西が及び南、北より の、更に最近西が及び南、北より ので、更に最近西が及び南、北より ので、更に最近西が及び南、北より ので、一般のでは、一般の

近く説明ある響であるが

第二八水上類接大會は既報の短く 中一七日午後率天アールにおいて隣 をれたが、案天側は楽人ばかり ないたが、案天側は楽人ばかり を 水泳競技 育成對奉天 各地に對し選手の出場が勤誘中で たて全浦で網大會を製行すべく目下 御地に放 か あるさ 機能管が協合弓術部治能の下に来 全滿弓道大會

でた充分の保護な加へることに決しが際、な吸答することに決しか職地内を力を開催が選用度食庫に全部の登職民士を発信せ口様だろの保護な加へることに決しが

ま が事務所の総総の下に歴大な郷徳となったが、つきわつたるが十六日午後駅時四十五分総に不歸の人さなつたが、日本七日午後一時より蟾龍寺に就てた 力行會 慰皮職鳥縣人な中心さら地で、

里愛知縣丹和郡城東村字塔之池の 資家に於て十八日朝死去、享年六 十九、業儀は十九日朝死去、享年六 66 があつた 紀藤商議會頭母堂 銀防注射な強制的に施行するされ、なほ避難民に對してはコレラ

官舎の不足を生じたので近く数十額山緊緊署では警員の増加により

警察官舍新築

公主與職合婦人會長衛司命官夫人 記念品を贈る 森聯合婦人會長に 主嶺 應援警官配備

『事式』 東京はその後着々進捗し來る九月 上面日までには完成し十月一日か

| 日下準備を整へてゐる

榮轉の兩中尉出發 ひ午後二時終了した 教會は不許可

K

0

る

の五十銭といふ大奉仕大勉强

金は一般本郷及び各中職の際校下上時金は一般本郷とは、一大阪本郷及び各中職の際校下上時金は一般の意味を行びついまり、東京の見送りがあり、萬島原神に出しが盛んに祈禱等を行びついまり、大阪本郷及び各中職の際校下上時金は、一般本郷に割られて行いついまり、大阪本郷といるで、一般本郷には、大阪本郷といった。 大久島行次及が信徳観代さして川村 子之助、横田慎太郎、大澤正一、 一山田重慶等連名の上天理教陽大教 一山田重慶等連名の上天理教陽大教 一山田重慶等連名の上天理教陽大教 一山田重慶等連名の上天理教陽大教 久島行次及び信徒總代さらて川村久島行次及び信徒總統の

順 放送

繁される事さなり九月上旬から丁 事係の手で工資約二千圓か以て新 被山滿線醫院屍室は地方事務所工 ▲在港第二十六編逐隊司令西村神 常各方面へ挨拶か貸す

本社さ打合せのほの十八日午後二階版地港級の浦洲国へ戦響に関し、

女

屋裝訪記※

革

する、人

表してくださいました。お寒に上達のな

くほごの

間線作業甲庫城に拉致され又は危安素線に於て保税丁場號務員が中 盂蘭盃會執行 チチハル

一般版な伸ふ場合に概ふるため各 たるため現在に於てはこれが野策 る | 電地景龍江省政府日梨管更新活動 | 本の時から龍江野グラウンドに続て | 本の時から龍江野グラウンドに続て | 本の時から龍江野グラウンドに続て | 本の時から龍江野グラウンドに続て | 本の時から龍江野グラウンドに続て | 本の時を入れた | 本の時に | 林式野珠翼

赊勝太郎 見 果(熱腸)▲母の秘密

▲食慾のきつき進む美味しい病人料理の作方▲お惣菜向きの季節の小魚料理の作方廿五種 日ヤケを早く治す化粧法 ▲男女兒用の秋の毛絲編物編方(発記4) ●初秋向き流行の子供服の作方(詞録) 後やはでヤケたお頭を取く出 開

競技藤原義江の實母の告 妻。死怨信仰。復活機 病籍治す根本療法 では、原集 台(保(江) ▲夫婦とも博士では ▲お金に不自由せぬ秘録 和の 離婚問題迷囊相談 へを情人 加した未亡し ・手筋方

宮城道雄先生の新發表で大評判 「土州之友」 人の經論

*治练博

マイト

もピックリするほぞの大いもピックリするほぞので誰を言者に贈呈するので誰を十二枚が四五銭もするやうな素

の誇とする

友社

たス

ある 員 0) 空前 雜誌界

附錄

の

藥良膓

胃

療され 須ら

慢光性 胃 腸

らしく見にぬが何しろ
傷胃の機能がすつかり損 は實に治り難い病氣で人目には 腹膨りゴローへブツー 食慾進まず胸先落 いつも下痢や軟便にて便には粘液膿汁を混じ 滋養物を食するも身に附かず身體衰弱し て内壁には恐ろしき疵や爛れを生ぜるため 少しの酒や不消化物を食するも覿面下痢し痛み 大便に血液膿汁を混じ胃癌胃潰瘍腸結核等の疑 肺尖肋膜に故障を生じ熱出で夜 元氣衰へ顔色悪く神經過敏にて短 へ嘔つきゲ 鳴り放屁多く下腹痛み 眠られず 氣となり ツプ出で 左程大病 發 新

液の分泌を減じ弛緩を引締め蠕動亢進を制し下痢を 胃腸の機能を旺盛にし食慾を進め榮養の吸收を住良 アイフは胃腸病に最も適切の良薬で、主薬は病原 にし血色と體重を加へ元氣と健康を著しく増進する 止め痛みを鎭靜して病苦をよく快極に導く。が更に の患部を治療すると共に炎症を鎮め粘膜を強くし粘 である勝胃内壁の潰瘍面或は糜爛面に附着しそれら

健胃 發賣 三百四十號人二 國 千 號人五 國 大阪市東區清水谷西之町

して急性慢性の胃病を速に輕快に なる藥效の主力を病原治療に傾注 單なる消化薬ではない。特有の適切 する割期的最新の胃病専門薬である

ひある症状には是非ともアイフを服用せられよ 三 服 人 二 十 個四 日 分 七十五 鏡 十七日分 三 四十五十號 アイフ薬債

なる薬店に販賣する所の有名

東京 新巻末末六二二人人等 電路(小河河) MO J O D 型 車 京 京 市 本 郷 原 奥 砂 町 九 巻 地 電 額 (東) 五 O O 三 産 大 版 三 四 五 巻 臨時議會中に

大官暗殺を謀議

今牧博士以下起訴

選手一行

春洋で凱旋 4 A對1 九月八日橫濱着 選手即旋第一船香洋丸

横商先づ勝 質業はなぜ振はぬか

一鉄一のドロンゲームのわさを浸った権害高機野大連常業第二回機 実験与に就て上後(城)他線(像) 機 実験与に就て上後(城)他線(象) 機 大動物質繁和底で際給したが四人 大動物質繁和底で際給したが四人 大動物質繁和底で際給したが四人

松山快勝

一場七四十一、

看護婦生徒募集

日浦地部の使命な参びて、浦州園村浦地部の使命な参びて、浦州園村県・北る十日観、東京の銀河ル州 年 に、北る十日観、東京の銀河ル州 は、北る十日観、東京の銀河ル州 は、北る十日観、東京の銀河ル州 は、北る十日観、東京の銀河の

~~~~~~~~~~~~~~~~~<del>\*</del>~~

氣御見舞に是非御家庭に必須のに、紅茶珈琲を召す時に、御病御子様の保健の爲めに御來客樣

女神印ソーダ・ビスケット 惡疾流行の時 金二十六〇

旅大裏道路の名所 古色蒼然たる牧城子

2 職保存者にて記念牌か赴立する外

近て順東殿内の戦

新に土民の土地を買上げて終 新に土民の土地を買上げて終 がで、職難に逃び、職難に逃び を終して、職難に逃び

のさし長戦今日に及ぶしんさして作れと以来、時に

**拓大生の壯塵** 自轉車で訪済 五、六脈脈に上つたのだから質下つてぬたのがこの類では九十

般に同僚されてぬたのだから、他の他下りなみるたびに、生活 数り動下りをみるたびに、松田

協同聯合演習 周水子附近で

であであり世界平和に一大センセイション

平和のためであつた。

た。皇軍は遂に立たねばならなかつた、それは東洋平和來ない九月十八日、柳條溝籤路破壞の暴撃は遂に世界來ない九月十八日、柳條溝籤路破壞の暴撃は遂に世界

念

f

、零下三十餘度の極寒に身をさらし、不眠不休の勇

美険を残してゐるが、

本社ではこの応却

八日を記念すべく、

左記の催しを奉行す

式

祭

九月 ることに

日

於

九月

日

時間の ・ では ・ では

大連の銀相場

講演

記念碑建設資

金献納募集

迫て發表いたします

百米自由型決勝、四百米自中利四百米自由型決勝、百米平冰決勝、三十米日田型決勝、百米平冰決勝、三十米日田型決勝、三十米日田型決勝、三十十十四百米自由型決勝、三十十十四百米自由、型強速、四百米自由、四百米自由

附記

滿洲國大展覽會

オン

13

五

滿 日

日

堂

ではまなし振りには歌んマウ梅濱荒木平田のバッテリーで ド後職内野陣の海偏に乗じてバン

表され空前の人気を呼んでゐる。 全國中等校野球

別無歲里

発中は

聯合體育大會 6條橫山楠中松深福加 4個中松深福加 725 2 失策 2 3 山内 5 烯疊 1 9 杉田 1 併殺 2 7 宇野 日舉行

校(男子)

忽然場を施した上長殿三蛇ドツク なは、大時常島に入港校十日間に庭り際 大時常島に入港校十日間に庭り際

式ドーリ機勝能物穀

長春丸青島着

今樣石童丸

遊々と宋浦

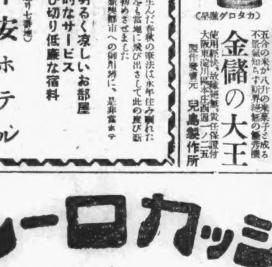
就が置り取職べた職職関市施口町芸の一少年を指頼智成中の水上署 三二派夫中原竹火の火製中原料 七人の子供な内地に残し大連に

5 1

時やうやく観察の見込みたつたの情に野流中のさころ十九日午前八世に野流中のさころ十九日午前八世に野の大の長竹水 ばいかる丸假泊

大連の地からこの私達を東北荷軍閥が新國家を生

大衆的で思ひ切り低廉な宿料親切で家族的なサービス新らしくて明るく凉しいお部屋 新典都市への御用券に、是非當ホテ













1一種目の内参加(世ピリレーなの)を (神殿二名以内)便じメドレー

商競技参加人員中各校一種目は







日本橋東局 發賣元 福永洋行

本社 下 間 市 竹 崎 町 一種魚部、海魚部、海魚部、麦木今藏風部、腹部上原、造船原業、 門林殿部、漁城部、冷凍魚部、海魚部、海魚部、麦木今藏風部、腹柱工場部、肥料部、 街具工作 間 市 竹 崎 町 品取主 な 目扱る 鹽魚鮮魚冷凍魚罐詰各一般

株式會社林兼商店大連出張

亀澤 界各國酒 0 類 食 にあり 00 カ

公示催告 人白井喜伊藤 船而競奏止副各賣 酒渍 日本谷

地名産 珍

代理店オリヱンタル貿易商

カロニ〇八六四二 ルカスマのののかっののかった。 カカスマののかった。 コロロニセニ五六

当局者の 威想

SHD S

・一七日の

007

かりの

三の服用全快者が、全快者の軟態能は、 の服用全快者がこれな立識に護明 では、事が出来る。

大連若狭町

電話七七

工績小量

尾形

けられれるできにかく食う

てなくなりの親娘も友達も見向して大抵はまの食へれた気だがれ

3 +

第六回

滿日特選 恭戰

まれた。 新田春治コ 新田春治コ

だが、さうべんはいかれえでれないで腹つた者からはなられえ

るた三州寅が突然飛んでもない遊立ちなしたやうに覆ましてん

しお公職の落胤だよ」さ毛造

消费

旦那が世の中を知つてるちうこ

え、解つてらあ。ク

そこんさこは訊いて見なかつた

放送り

連りの会社

病者は先づ

治療法を選べ

しごと限権へたいつこまれていったら、ひでも目に連った上

る目に達つた

活にも、外から見るさ人生遊感の近のかうことはれるかう云ふ生

底

春木はその何尾な思はず復識

河

野想多

鐘

(381)

要理なんてものは全く

れば眠る。

をれた目あてにやつて楽れんだ」 で飲み正はまた間ひかけて、場 さの職 のやうにふくれた顔を振り 鬼され。ク……」さ飲みで たし、懐遠の世の中からルンたし、懐遠の世の中からルン 世間の人間を 会った「

「白午後七時四十分子供時間) 「白午後七時三十分 野球連絡放送 「管業對橫濱高蘭第三回戦」 「中後三時五十分 野球連絡放送」

がれ、兵那一 

▲童謠(イ)つくしの坊さん (大村主計作詞、鹽田義一作曲) (ロ) 声が水化こ (今井ず九二作詞、鹽田義一作曲) (ロ) 古水化 京」〇人は 後六時三十分 ■ 泉郷権をなて事が最も大響であっ三歩の権能は優秀なる内で書で

限機トシテ最モ適當ナルコトチ認ム。 一、臨極内服機ペルツ丸

醫學博士 北 井

云ツ事ハ絵程

「子供の夕)

先年大阪に

開催された

依ツテ注射ノ出来ス最合ニ長の前ノては10年で 直が解ルが初期ニ注射ト併用シ或ハ二期三期メハ體質ニ丸」ハ吾々専門家が魔方チ見を変デモ効果ノアルコトが梅霧ノ治療テ目的トシテ販費サレテ居ル内服薬「ペルツ 

仁射ノ出來ヌ場合ニ最モ適シタ職権燃トシテ効果

醫學博士 細野尚是

ノ薬品が配合シタルハ内服搬トシテ最モ適當ナルモノト製剤ノ主搬の梅毒疾患ニ有効ナルモノニシテ商シニ種を

へた経説さいはれてゐる 全身驅梅藥

ベルツ丸は

梅毒、體毒 ーテモ良く刺く内服薬

注意 おり。御求めの節は必ずマルッ丸ト御指定下さ近頃マルッ丸ノ類似品や模造品を柳霞する動店

れっ空を屋根に、大地を除に、あれっ空を屋根に、大地を除いまれたが 「飛んでもれえこんだよ。圧脈。

『左様さ。ク……。中でも都會は 『左様さ。ク……。中でも都會は 一を構木は光程三州館が買って來 が成り、一般成。 が成り でもれた二本目の一形版をあけな

大漁戦」「日支紛争さ献洲諸國」の風れ」「日支等件をめぐる米國議會の風れ」「大連澤蘭事件の眞わ村東生實話」「大連澤蘭事件の眞わ 日露戦ふか?

電品要大、新統書「日の出」 & 窓の大脈散九月號にあり、軽点で、等によ、優勢、熱災等、等 信少説「第三の鳴」出て、新郷海大ち東亞の版勢な園民に識へた際、冷

はさより便を試みても悪はしくないさいふがは、腰や心臓、腰、脚、酸、脚、脊髄等を懸された をは、一目も早くベルツ丸を御試み下 をは、一間の脈作用もなくが脱等を懸された をは、一間の脈作用もなくが脱等を懸された をは、上では、上では、上では、上では、大小便と大小便と大小便と大いでは、 を動かするを擦になり、二キビの機ながするを擦になり、二キビの機ながあるといってはなら、 でするを擦になり、二キビの機ながあるといを がするを擦になり、二キビの機ながあるとないってはならに取り、 がするを擦になり、二キビの機ながあるといを がするを擦になり、二キビの機ながあるといを がなごはいってはならに取り、 がなごはいってはならに取り、 がなごはいってはならに取り、 がある。 た神速ならしめ、注射では球と焼用薬であるから、砂野に注射さ休用薬であるから、砂野に注射さ休用 資際情報を初め、全身権権、潜伏界が歩くしくないこ云はれてぬる をおり、 秋年権威に関か、注射は をおり、 秋年権威に関か、注射は

東京日本藤県東丁三・四 一 百四十一日分士職・二百四十一日分士職・二百四 乗 一 十八日分三隅・卅二日分 乗 一 十八日分三隅・卅二日分 乗

神天下 えた が が が が が が 降 展學工 住

**皮**數梅毒 海 病 病 性病

醫學博士

大連製氷特約



居ルニ依り推奨スルニ足ルモノト認ム。職権級「ペルツ丸」ノ處方テ見ルニ何レモ内収強トシテ

江

太郎

専門醫學博士の寄

せられ

ツ丸推奬の言葉







達用御省內宮

弊社の過去二十余年は

皆様への奉仕と品質改

の歴史です、

弊社は

日夜この一品に全力を く努力して居ります し以て御愛顧に報ゆ

學理と實際に基い 梅毒 療 た

INT

水年に涉る難症梅毒でも

本年権議のために著められ二十本 はいが、時々ニキビの様なしく治らず、ざ さればみたが様々しく治らず、ざ さればかれが様々しく治らず、が さればれば進まず、神郷穀糠に留來、 様に呼ば進まず、神郷穀糠に留來、 様に呼ば進まず、神郷穀糠に留來、 なるなるが、ごうしたり完全に りったるなるが、ごうしたり完全に からなるなるが、ごうしたり完全に からなるなるが、ごうしたり完全に からなるなるが、ごうしたり完全に からなるなるが、ごうしたり完全に からなるなるが、こうしたり完全に からなるなるが、こうしたり完全に からなるなるが、こうしたり完全に からなるなるが、こうしたり完全に からなるなるが、こうしたり完全に からなるなるが、こうしたり完全に

る。 を要が必要であるから を要が必要であるか。 を要が必要であるか。 を要が必要であるか。 を要であるか。 が必要であるか。 が必要であるか。 が必要である。 を要である。 を要でする。 を。 を要でする。 をでする。 をです。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をです。 をでする。 をでする。

此方法で全快に導く